

INDEX

卷頭特集	学系・コース・研究紹介	キャンパスライフ
01 学長メッセージ	30 情報学系 情報コース	56 キャンパスライフ・マップ
02 つうおん 新しい学びのスタイル	34 工学系 機械コース	58 クラブ・サークル
12 研究活動紹介	38 工学系 電気電子コース	60 周辺みどころSPOT
14 研究TOPICS	42 建築学系 建築コース	62 学生の一日
16 4年間の流れ	46 研究室一覧	63 留学生VOICE／指定学生寮
18 共通教育	48 研究環境	入試情報ほか
20 サポート体制	49 大学院	64 入試情報
22 在学生の取り組み	キャリア	65 学費・奨学金
24 学修環境向上への取り組み	50 キャリア・就職支援	66 入学者出身校一覧
26 数字で見る東京工芸大学工学部	52 就職先・進学先	67 オープンキャンパス情報
28 大学の沿革	54 卒業生インタビュー	

※パンフレット記載の内容は2025年3月時点のものです。

※学生の所属学系・コース・学年は取材時点のものです。

※パンフレットの写真は、本学芸術学部写真学科2013年卒業の清水 北斗さんがメインで撮影しました。



表紙モデル
建築学系 建築コース2年
山下 晴夏さん
麻布大学附属高等学校
(神奈川県)出身



 **情報学系 情報コース**
INFORMATION TECHNOLOGY COURSE

P.30

 **建築学系 建築コース**
ARCHITECTURE COURSE

P.42

コンピュータを自由自在に操り、社会問題を解決できる能力を身につけます。コンピュータの基礎・専門知識の獲得にとどまらず、その知識と技能を活かして、さまざまな分野へ挑戦していくける広い視野と応用力も養います。実習科目に加え、多彩な講義を用意しています。

少人数制の設計製図演習、充実した実験設備、そして教員と学生の距離の近さが最大の魅力。建築関連の基礎知識に加え、得意分野に合った専門知識を学ぶことで、建築の専門家を目指します。「デザイン」「構造」「環境」の3分野をバランスよく習得できる点も特徴です。

 **工学系 機械コース**
MECHANICAL ENGINEERING COURSE

P.34

 **工学系 電気電子コース**
ELECTRICAL AND ELECTRONICS COURSE

P.38

モノづくりの基礎となるメカ・回路・プログラミングを、ロボットという具体的なモノを通して学ぶことができます。個人やグループでロボットを製作する授業が配置されており、年次に従って、課題となるロボットもレベルアップ。コンテスト形式で技術の習得を目指します。

電気・電子は、すべての産業を支える大切な技術です。指定科目を履修すれば、電気主任技術者の学科試験が免除されるほか、中学・高校の教員免許(数学)の資格も取得可能です。回路作製やコンピュータを使ってモータや表示装置を制御したり、ワクワクするような実習があります。少人数制で安心して学べます。

学長メッセージ

私たちは、より柔軟でより充実した学生生活のために、新しい学びの改革に取り組んでいます。

東京工芸大学は、いまから100年ほど前の1923年に、日本初の写真の専門高等教育機関として創立しました。19世紀初頭に発明された写真は、画像を正確に記録し、その情報を多くの人々に効率的に伝える新しいメディアとして、世界を一変させる大きな可能性を秘めていました。そして写真は、テクノロジーであると同時にアートとしての側面も持っており、人々に親しまれ、急速に社会に普及していきました。そのようなテクノロジーとアートが融合した写真の教育を原点として、現在の東京工芸大学は、工学部と芸術学部という二つの学部からなる、極めて特色のある総合大学へと発展しています。本学が創立以来ずっと受け継いできた教育理念とは、テクノロジーとアートを融合した教育によって、高度な知識と技能を備えた、広く社会に貢献できる人材を育成するというものです。現在、東京工芸大学では、その特色であるテクノロジーとアートが融合した教育を、さらに進化させるための学びの改革に取り組んでいます。それは、これまでの大学のキャンパスでの一般的な授業に加えて、時間や場所の制約にとらわれずに学修ができるオンラインを活用した授業や、学生が主体的に取り組めるプロジェクト型の授業など、多様な学修方法を組み合わせることによって、学生の皆さんのが、より柔軟でより充実した4年間の学生生活を過ごせるようにするための新しい大学教育を提供します。この100年間に社会や人々の生活は大きく変化しました。次の100年はこれまでにも増して地球規模の変革の時代となるでしょう。そんな時代を生き抜いていくために、東京工芸大学が推進するテクノロジーとアートを融合した革新的な教育は必ず役立ち、本学で学ぶ全ての学生たちの輝かしい未来を築いていくものと確信しております。

東京工芸大学 学長
吉野 弘章

自分の「学び」をトコトン追求！

つうおん

工学部の新しい学びのスタイル

通学 + 研究・課外活動／^{おん}オンデマンド

大学生活は「専門分野の学び」と
「やりたいこと」を、どちらも叶えたい——。

工学部の新しい学びのスタイルは、通学3日間の面接（対面）授業で情報・機械・電気電子・建築の実践力を磨き、残りの時間は研究・課外活動（部活動／ボランティア等）+オンデマンド授業に充てます。キャンパスでは教員から直接指導を受け、オンライン授業では振り返りのしやすいオンライン動画等を視聴して主体的に好きな時に好きな場所で学ぶことができます。好きな分野に集中しつつ、仲間とロボット製作や地域連携プロジェクトに挑戦できるなど、「専門分野の学び」と「やりたいこと」が理想のバランスで実現できます。

TOPICS 工学部の学びの改革

工学部では、本学が目指す教育改革に基づき、2026年度から「3日間の通学／面接（対面）授業」+「2日間の自分に合わせた研究・課外活動／オンデマンド授業」という新しい学びのスタイルを導入します。一人ひとりのライフスタイルに合わせて個性を伸ばし、知識・技術力に偏ることなく、感性や協調性など、現代社会で求められる能力を備えた人材を育成します。



3日間の
面接（対面）授業で
コミュニケーション力を磨く

[通学]

COMMUTING
TO SCHOOL

2日間の
自分に合わせた
研究・課外活動

[研究・課外活動]

EXTRACURRICULAR
ACTIVITIES

自由度の高い
オンデマンドの学修

[オンデマンド]

ON DEMAND
CLASSES

WHAT'S つうおん

一人ひとりのライフスタイルに合わせて個性を伸ばす

これまでの大学の時間割では、多くの知識を学ぶ講義型授業と長時間の実験・実習型の授業とが各曜日に混在し、研究・課外活動と両立させるのが比較的難しいものでした。東京工芸大学工学部は、この課題を解決するため、対面で実施するキャンパスでの授業を週3日（火・水・金）、研究・課外活動+オンデマンド授業を週2日（月・木）に集約。時間割を改革したことで、集中して学ぶ時間と、勉強、部活動等に没頭できる時間を明確に分離しました。この改革でタイムパフォーマンスを向上させ、学生一人ひとりの“成長の密度”を最大化します。

つうおんボランティア

地域連携プロジェクトで社会貢献を実践します。単位認定科目「地域ボランティア」など、技術を活かした活動で責任感と協調性を育みます。

もともとは通学日や研究・課外活動やオンデマンドが混在。

従来の時間割

MON	TUE	WED	THU	FRI
面接（対面）授業	研究・課外活動	研究・課外活動	オンデマンド	研究・課外活動
研究・課外活動	オンデマンド	オンデマンド	面接（対面）授業	面接（対面）授業
オンデマンド	面接（対面）授業	面接（対面）授業		面接（対面）授業
研究・課外活動	研究・課外活動	研究・課外活動	研究・課外活動	研究・課外活動

つうおん授業



対面では協働力を、オンラインでは深い学びを提供します。繰り返し視聴できる動画教材と教員の丁寧な指導で、理解と自主性を両立させます。

つうおん社会人経験



大学はアーバンやインターンシップの経験が「学びの武器」に変わる環境です。社会経験で得られる段取り力を研究計画の管理に活用できます。

つうおん部活



月・木は部活動やサークル活動に思いっきり集中できます。ロボットサークルやドローン・サイエンス研究会に参加するなど、仲間と技術を競いながら人間力を高められます。

サポート体制

工学部では、学生一人ひとりが安心して学べるよう、手厚いサポート体制を整えています。新入生約8名につき1人の専任教員が担当する「カリキュラム・アドバイザー（CA）制度」で履修計画や進路相談をサポート。授業内容や課題については「オフィスアワー」で教員に直接相談でき、「学修支援センター」では個別指導を受けることも可能です。さらに、LMS（学習管理システム）を活用し、オンラインでの授業資料閲覧や課題提出がスムーズに行えます。先輩から、自身の経験に基づいたアド

バイスをもらうことができるピア・サポート制度も整えられています。また、スケジュール管理や自分から積極的に相談することが苦手な学生は、通学日に必修科目として開講されている「学修技術と自己管理」の授業で、毎週、必ずカリキュラム・アドバイザーと対面で相談ができる体制が整えられています。これらのサポートを通じて、学生一人ひとりが自分らしく学び、理想の未来に向けて成長できる環境を提供しています。

詳細はP.20へ

つうおん就活



オンデマンド授業の日をうまく活用することによって、インターンシップや企業訪問に集中できます。



3年間の学びを結集して独自研究に挑戦します。教員との密な議論が社会ニーズに応える成果を生み、就職や進学の強力なアピール材料になります。

つうおん卒研

時間割を整理し通学日をまとめタイムパフォーマンスをアップ

つうおん資格

オンデマンド学習で資格対策を柔軟に計画できます。空いた時間を各種資格の取得に充て、エンジニアとしての強みを確実に積み上げます。

1年次から研究活動に参加し、仲間と協力して課題を解決する力を養います。教員のサポートのもと、自分だけのテーマに挑戦した場合、研究費用のサポート等があります。また、研究成果が単位として認められる認定科目が開講される等の仕組みも充実。実践を通じて未来を切り拓く力を育てます。

つうおん研究



つうおん実践修習



実験・実習・演習を通じて、理論を実践に結びつける力を育成します。最新設備を用いた実験で技術を磨き、企業や社会と連携した実習で現場力を養い、課題解決型の演習で応用力を高めます。これらの学びを通じて、社会で即戦力となるエンジニアを目指します。

つうおん探究



自ら情報を収集・分析し、グループワークで解決策を導きます。実社会と連動したテーマに挑戦し、対応力と論理的思考を高めるトレーニングを実施しています。

つうおんQ&A

Q 研究・課外活動+オンライン授業の日でも、大学に登校できますか？

A 大学は月曜日から土曜日までは通常どおり開いています。登校して、フリースペースで授業を受けたり、サークルや学内の集まりに利用できますので積極的に活用してください。教員や職員は研究・課外活動+オンライン授業日でも変わらず大学にいますので、例えば就職相談や論文添削などのご相談をいただくことも可能です。

Q 研究・課外活動はボランティアのようなものでないとダメでしょうか？

A いいえ、大学側では特定の活動を推奨・強要することはありません。そのため、ご自身で研究・課外活動+オンライン授業を活用して、興味のあること・取り組みたいことに時間を使うことができます。例えば、就職活動の面接、部活動、他の大学との交流、研究テーマの下調べ、アルバイトなど、一人ひとりの将来の夢や今大切にしたい事に対して時間を使っていただけます。

週3日の通学による面接(対面)授業で育む 実体験をとおして学ぶ実践的な力

週3日の通学による面接(対面)授業を通じて、実践的なスキルを磨くことができます。教室では、教員や仲間と直接対話し、問題解決能力やチームワーク、コミュニケーション力を高めます。また、最新の機器を用いた実験や実習により、理論



と実践を結びつけ、専門知識を深めることができます。さらに、多様な背景を持つ学生との交流は、幅広い視野と創造的な思考を育む貴重な機会です。このような総合的な学びを通じて、社会で活躍するエンジニアとしての基礎を築きます。

TOPICS

大学院早期履修制度

学部教育と大学院教育の接続を目的として、学業優秀な学部4年次生は本学大学院の授業科目を履修することができます。修得単位は本学大学院工学研究科に入学した際、4単位を限度に大学院修了要件単位に含まれます。



ドローン国家技能資格取得で卒業単位認定!

(株)先端技術無人航空機トレーニングセンター(AUTC)によるドローン講習が学内で受講できる本学では、2024年度入学生から、ドローン操縦技能の国家資格である「無人航空機操縦士(一等・二等)」を取得した場合、卒業要件単位に新たに認定されます。

詳細はP.22へ



実践的教育により



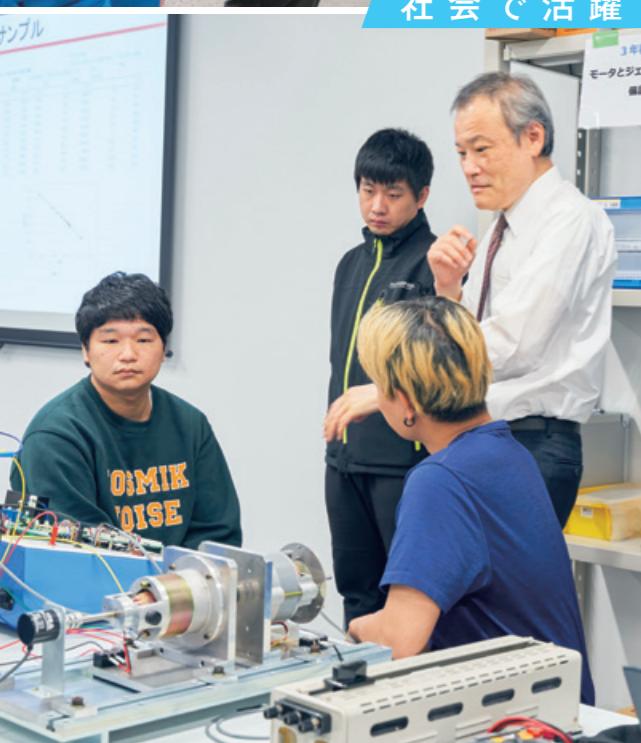
複雑な3次元形状をした機械部品やロボット部品などの製作に用いられる「5軸マシニングセンタ」や高性能電子素子の研究や太陽電池製作の授業で使われる「クリーンルーム」等、最先端の実験設備を用意しています。



他者と協働して学ぶ
グループワークやディスカッション



授業を通じて得た知識・スキルを基に、課題を見出し、それを解決に導く力を養います。「自分で得た情報を整理する」「不足している情報を自ら補う」などのトレーニングにより、課題解決能力や対応力の向上が期待できます。



社会で活躍できるエンジニアを育成



授業に関する質問はもちろんのこと、教員との雑談から今までにないアイデアが閃くことも。学生約8名につき1名の教員が担当するカリキュラム・アドバイザー制度や学修支援センターで、きめ細やかなサポートを実現します。

詳細はP.20へ



教員との距離が近いので
わからないところは気軽に質問

週2日のオンデマンド授業で育む 自主学修能力と時間管理スキル

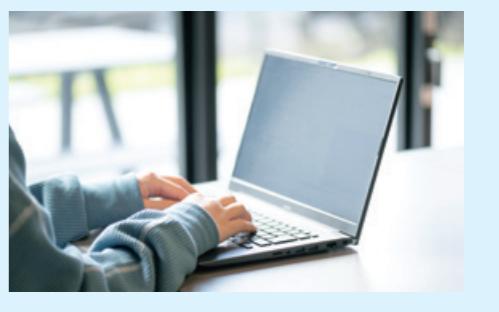
高度なメディアを活用し、効果的な学修法が確立している充実したオンデマンド学修により、効率的な学びを実現します。週2日のオンデマンド授業では、最新のオンライン学習システムを活用し、学生は自分のペースで学修を進め、基礎教養や複雑な工学概念を深く理解できます。自己管理能力と責任感を養うと

もに、デジタルスキルも向上させることで、次世代のエンジニア育成に最適な環境を創出します。また、柔軟な時間活用により、研究・課外活動への参加など、幅広いスキルアップが可能です。常にアップデートされる新しい授業の形式は、急速に進化する工学分野の最新動向を学ぶ絶好の機会を提供します。



TOPICS ノートパソコン必携

工学部では、現在の情報化社会において、情報処理の知識と技術を駆使して新たな社会的価値を創造することができる人材を育成するため、情報リテラシーの講義をはじめ、ノートパソコンを活用した講義を行っています。自分専用のノートパソコンで授業や課題を行うため、Microsoft Office製品、さまざまな業界分野で活用されている数値解析ソフトウェアのMATLAB、建築・機械分野などで幅広く活用されているAutoCADなど、Autodeskの各ソフトウェアを在学中、無償で提供しています。



週2日のオンデマンド授業が生み出す
時間や場所にとらわれない学修と
充実した学生生活

パソコンやスマートフォンで好きな時間や場所で授業の受講が可能です。学内専用の学習管理システム（LMS）を利用することにより、授業資料を視聴し、質問やレポートの添削等もシステムを通じて行うため、オンデマンド授業においても学生・教員の双方のやりとりが可能です。



時間や場所にとらわれず
自分のペースで学べる

授業はオンデマンド形式での配信となるため、自分のペースでしっかりと学修することができる。また、重点的に学びたい内容や、分からぬ箇所を繰り返し視聴することにより、より深い学修が可能となります。

時間や場所にとらわれない
柔軟なスケジュール調整が可能

オンデマンド授業日は、授業時間に縛られないため、日中の時間を利用して、部活動（サークル）、ボランティア活動、研究活動、就職活動等の研究・課外活動を充実させることができます。これらの研究・課外活動の充実により、人間力向上に繋げます。



研究活動紹介

各コースの4年次生が研究活動についてご紹介します。

スマートグラスを用いた野球観戦支援システム



近年、大谷翔平選手の活躍もあり、これまで野球に馴染みのなかった人もテレビや球場で観戦する機会が増えています。一方で、ルールが分からぬために、観戦への一歩が踏み出せない人もいます。そこで、野球観戦の初心者向け支援システムの開発に取り組んでいます。ルールやファインプレーの解説、または選手の経験などの情報を、リアルタイムでメガネ型のウェアラブル端末であるスマートグラスに映し出す仕組みづくりを進めています。



情報学系 情報コース 4年
施 桃音さん
横浜清陵高等学校
(神奈川県)出身
映像メディア研究室

これまでの軌跡

01 step

テーマ決めに悩み先生に相談

当初は卒業研究のテーマ決めに苦労しました。なかなか決まらず、先生に相談。親身に相談に乗っていた中で、「自分の好きなことをテーマにしたい」という思いが芽生えました。それが「野球」でした。

02 step

野球経験のない人の声を集める

野球の魅力を多くの人に伝えたいと考え、野球経験のない人の声を集めることにしました。Webアンケート調査の結果、「ルールが分からない」「ファインプレーのすごさが分からない」などの声が多くありました。

03 step

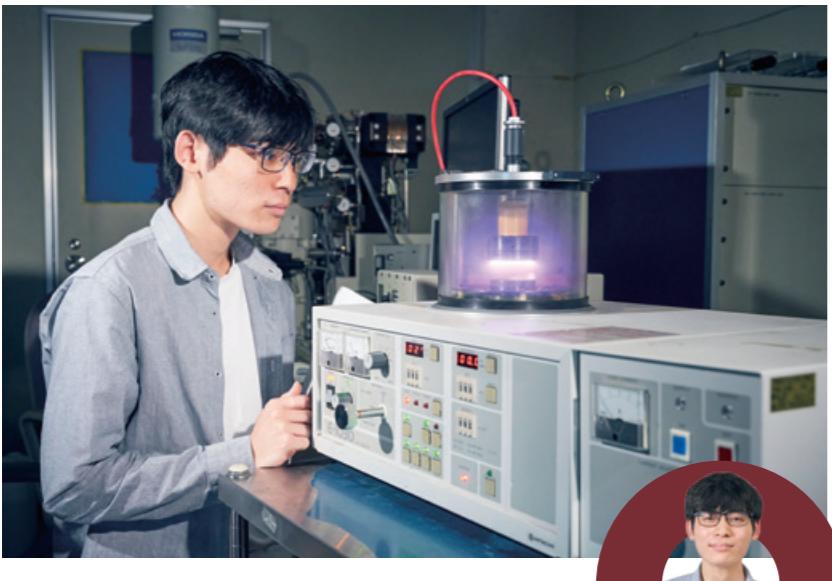
“当たり前”を共有するシステムを構想

アンケートの結果の多くは、野球経験のある人にとっては知っている当たり前のこと。野球に縁のなかった人も、この“当たり前”を共有することができれば、野球が楽しめるのではないかと考え、観戦支援システムを構想しました。

これからの展望

本研究では、スマートグラスやAR技術を用いて、観戦しながらルールや選手の情報をリアルタイムで映し出すシステムの構築を目指しています。テストとして、録画した野球の試合を流し、実際に視聴する実験を行う予定です。実験を繰り返し、リアルタイムの観戦に対応できるよう精度を高めています。

Geナノワイヤを太陽電池に応用し高効率化を目指す



太陽電池の分野では、小面積でも大きな発電量を得る技術の確立が求められています。その実現のために注目されているのが、「Ge（ゲルマニウム）ナノワイヤ」です。研究では、Geナノワイヤが成長するうえで起点となる金を、石英基板に蒸着。蒸着後、水素プラズマ処理をすると金ドットと呼ばれる粒が形成されます。高性能な走査型の電子顕微鏡を用いて金ドットの密度や大きさなどの観察と解析を繰り返しています。



工学系 電気電子コース 4年
齋藤 泰雅さん
神奈川県立瀬谷西高等学校
(現:横浜瀬谷高等学校)出身
半導体エレクトロニクス研究室

これまでの軌跡

01 step

さまざまな膜厚の金を観察

基礎知識の勉強とともに、さまざまな膜厚の金を観察しました。金の粒の密度や大きさなどを観察する中で、実際にナノワイヤが生えた試料との比較を繰り返すことで、比較の指標を確立してきました。

02 step

粒径・密度を手作業でカウント

実際に撮影した画像を基に、新しい粒の形状をしている部分の粒径、および密度をまず手作業でカウントして明確な数値上での比較検討を行いました。また、一定の粒径範囲ごとの粒数をまとめ、グラフ化も行いました。

03 step

画像解析アプリの本格導入を目指して

客観的な視点からカウントするために画像解析アプリを導入し、その使用方法や設定が研究に適しているかを教授に相談。現状は手でのカウントと比較しても誤差±10%ほどのため、解析アプリの本格化は近いです。

これからの展望

今後は画像解析アプリを本格的に活用し、金ドットの大きさや密度を算出。それらがGeナノワイヤの成長にどう影響しているのか、どのような状態が研究に役立ちそうか、明確化することを目指しています。

小型プラスチック部品ソフトグリッパーの開発



工学系 機械コース 4年
HONG CHENさん
仙台育英学園高等学校
(宮城県)出身
人工生命研究室

これまでの軌跡

01 step

プロトタイプの設計と製作

「Fusion 360」で、ソフトグリッパーの試作品を設計し、3Dプリンタで出力。シリコン素材の先端部分には、異なる用途に応じた2種類の型を試作。これにより、実用的なソフトグリッパーの基礎構造が完成しました。

02 step

物体認識の技術導入

最新の物体検知モデル「YOLO-World」を用いて、物体認識技術の調査を実施。軽量で持ち運び可能なハードウェアにAIモデルを実装することで、実際の工場での効率的な部品認識を目指しています。

03 step

実用性向上の課題と対策

3Dプリンタの操作とシリコン流し込みの精度に課題が見つかり、試行錯誤しながら技術向上を計画中。また、工場での聞き取り調査を通じて現場のニーズを見極め、プロトタイプの改善につなげます。

これからの展望

現在は、設計仕様に基づくプロトタイプの製作や素材選定を進めており、実験を通じてソフトグリッパーの実用性と性能評価を行う予定です。今後は、実用性を高めるための設計と製造精度を向上させるために改良を繰り返していきます。また、把持する対象の認識精度の向上のために、小型のコンピュータ「Raspberry Pi 5」や高性能カメラ「Intel RealSense D435」などを導入し、リアルタイム認識の実現を目指します。

生活の「延長」



建築学系 建築コース 4年
本村 夏奈子さん
八王子学園八王子高等学校
(東京都)出身
建築意匠I研究室

これまでの軌跡

01 step

楽器に触れる機会や環境を、建築で叶える

自分自身も所属していた地元のジュニアオーケストラや吹奏楽部の活動が縮小している現状を知り、子どもたちが楽器に触れる機会や環境をもう一度復活させたいと考えるように。その想いを建築で叶えられたいと考えました。

02 step

子どもを取り巻く問題と建築を調査

地元だけではなく、日本で社会問題になっている不登校や虐待についても調査。同時に、子どもや学生を対象とした建築物や施設などのデータも収集し、それらをもとに設計する建築の機能性や空間について考察します。

03 step

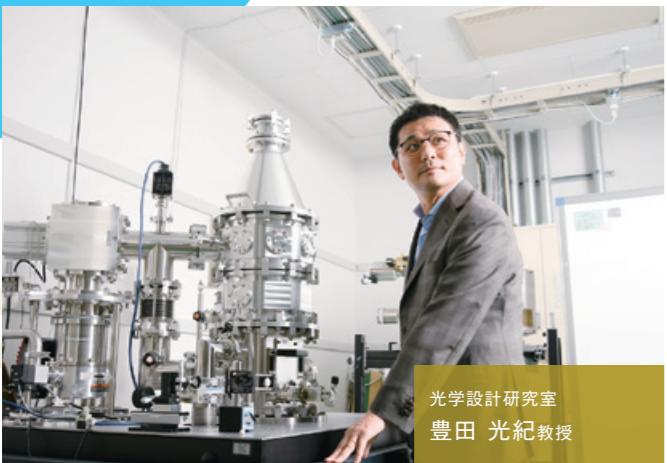
理想を目指してイメージを膨らませる

どのような空間を作るべきか、または建築によってどのような風景が作れるかを、スケッチを描き模型を作り、試行錯誤。周辺とのつながりや空間を立体的にイメージすることにより、理想的な空間を目指します。

これからの展望

子どもたちにとって、地域の活動や学校での部活動は、多様な経験が得られる場です。かつての私にとっても大切な居場所であり、今の私を形づくるルーツでもあります。少しでも地元に恩返しできるよう、また子どもたちに共感してもらえるように、設計に“新しさ”を模索しながら頑張ります。

情報学系 情報コース



光学設計研究室
豊田 光紀教授

社会心理学の理論をシステムに組み込む

人とシステムが長期的に親密な関係を築くために、社会心理学の「親密化過程」に着目。人と人が親密になっていく過程には、「自己開示、類似性・異質性認知、役割行動」のサイクルがあることが分かり、これを用いて、人とコミュニケーションを行うシステムの開発を目指しています。現在は「自己開示」の段階ですが、この時点ではシステムに親密を感じやすいという結果が出ています。今後は生成AIを用いて、親密度を向上させたいと考えています。社会心理学の理論を、どうシステムに組み込むべきか、考えるだけではダメです。



情報学系 情報コース 4年
李 基響さん
関東国際高等学校(東京都)出身
人間共生システム研究室

Beyond EUV 10年後を見据えた研究

スマートフォンのメモリなどの鍵になる半導体デバイスを作るには、回路パターンを光でシリコンに焼き付ける必要があります。髪の毛の5千分の1ほどの10ナノメートル幅の焼き付けには、紫外線より波長が短い「極紫外(EUV)」を使用。EUVはガラスを透過しないため、レンズの代わりにカーブのついたミラーを用います。光学設計研究室では、このEUVをレンズデザインの技術で操り、世界初のEUV顕微鏡を開発。2014年に試作した顕微鏡で世界最高となる空間分解能30nmを初めて実証しました。現在、この研究室で提案したミラーデザインは、スマホやPCなどに広く使われています。工芸大では、EUV多層膜ミラーの開発拠点として、光学メーカーや国立研究所などと共に、10年後を見据えたEUVの次世代となるBeyond EUV(BEUV)リソグラフィの研究開発を進める予定です。

未来のAI社会の在り方を考える機会を得て

大学のWEB掲示板で偶然見つけた、情報通信分野の発展的な学びを支援する「学生による社会スタディ」に参加。有識者による講演や、グループディスカッションを通じて、未来のAI社会の在り方について考えさせられ、専門分野のみならず幅広い知識を身につけたいという想いが芽生えました。学びの成果を出したところ、優秀なレポートを選ばれ、学ぶこと、行動することへのモチベーションがより一層高まる機会になりました。



情報学系 情報コース 3年
屋藤 翔麻さん
吉備高原学園高等学校(岡山県)出身
映像情報処理研究室

工学系 機械コース



ウェアラブルロボット研究室
辛 徳教授

好タイムにつながった座標追従アルゴリズム

1年次に製作した自律型ロボットを改良し、マイクロマウス北陸信越地区大会のロボトレース競技に出場しました。この競技では、白線を正確に追従しながらタイムを競います。入門機として製作したロボットに、ラインセンサの増設やジャイロセンサの搭載、ソフトウェアの改良を行い、より高速で安定した走行を実現しました。大学入学後に初めてプログラミングを学びましたが、試行錯誤を重ねる中で他競技者との交流や先輩のサポートを受け、特別賞を受賞することができました。ゼロから知識を身につけ、成果を形にできたことで、大きな成長を感じています。



工学系 機械コース 3年
高橋 尚亨さん
アセイア湘南高等学校(神奈川県)出身
ロボットビジョン研究室

ICTを駆使した建設機械の開発に向けた研究

将来は、建設機械の開発や設計に携わりたいと考え、大型特殊自動車免許をはじめ、車両系建設機械、移動式クレーン、フォークリフトなどの資格を取得。その経験から、ICTを駆使することで簡単に、そして安全に操作できる重機の開発を目指し、研究に取り組んでいます。建設現場では人手不足が問題になっています。その解決に貢献するためにも、機械設計の知識を身につけて、研究の成果につなげていきたいです。



工学系 機械コース 2年
落合 敬幸 ジョシュアさん
屋久島おおぞら高等学校(神奈川県)出身

工学系 電気電子コース



電波システム工学研究室
越地 福朗教授

次世代のワイヤレスシステムの可能性を広げる「無色透明アンテナ」

電波システム工学研究室では、電波・光を含む「電磁波」をキーワードに、通信技術やセンシング技術など、深海から宇宙までを対象に幅広い研究を展開しています。研究室の学生と二人三脚で取り組んだ研究成果の一つに、ガラスのような「無色透明アンテナ」があります。一般的なアンテナは、金属でつくられており、光を透過しません。私たちは、透明な導電性材料を合成応用することで、高い光透過性を有する「透明アンテナ」の実現に成功しています。その性能は世界最高レベルです。この研究成果により、窓ガラスやメガネなど透明なものに透明性を維持したままアンテナ機能を付加することが可能になるだけでなく、壁や天井、自動車のボディなどに対しても外観を変えることなくアンテナを付加することが可能になります。東京工芸大学の特色であるアートとテクノロジーの融合領域における研究成果の一つであり、次世代のワイヤレスシステムにおける新しい技術的可能性和デザイン親和性を提供することができるものと期待しています。

透明導電膜を用いた伝送線路の実現に向けて

透明導電膜を用いた伝送線路の研究に取り組んでいます。伝送線路とは、端的にいえば、さまざまな信号を伝える配線のこと。従来の伝送線路とは異なり、ITO(酸化インジウムスズ)を用いることで、透明な状態を維持しながら伝送線路として利用できることが確認されています。私は、伝送線路の長さや幅を変化させた場合に反射特性や伝送特性、電界にどのような影響があるのかを調査。伝送損失をさらに小さくするために試作を繰り返しています。透明な伝送線路は、未知の部分が多いため、研究が進むごとに新しい発見があります。



工学系 電気電子コース 4年
北山 哲也さん
東京都立江北高等学校出身
電波システム工学研究室

交通事故を未然に防ぐ。人体通信の可能性を追求

技術の進歩が目覚ましい自動車産業。その中で、交通事故原因の多くを占める運転者の体調不良や注意不足を未然に防ぐシステムが望まれています。私は、手首や腕、頭などに装着するウェアラブルデバイスによる生体情報モニタリングや、車両システム間の安定した通信ネットワークなどの研究に取り組んでいます。人体を通信媒体として利用する人体通信という新しい通信方式を応用し、運転者の体調の変化を察知するシステムの実現を目指しています。



情報学系 情報コース 4年
※電気電子コースの研究室で研究中
岡 明日香さん
共立女子高等学校(東京都)出身
電波システム工学研究室

建築学系 建築コース



建築史研究室
海老澤 模奈人教授

オフィスの在り方を模索した設計案が、実施案に

建築設計計画II研究室では、厚木市の、相模川と中津川の合流地点にあるゴミ中間処理施設のオフィスを設計。建物の中央には川を臨む大階段を配置し、大階段は会議室や商談スペース、そしてワークスペースをつなぎ、そのまま屋上に抜け、ルーフテラスやミーティングコーナーへと続きます。働く人の姿や仕事に打ち込む人の表情が見えるように、「見る」と「見られる」関係性をつくる設計は、コンペティション形式の審査で社長賞を受賞。実施案として選出され、現在は施主の要望をお聞きしながら、細部の検討を重ねています。



建築学系 建築コース 4年
大島 遥さん
神奈川県立市ヶ尾高等学校出身
建築設計計画II研究室

100年前の住宅団地を入口に建築史の面白さへ

約100年前、第一次世界大戦後のドイツは深刻な住宅不足に陥っていました。同時に、大衆のための健康的で実用的、かつ安価な住宅の建設が求められ、当時の近代建築家たちは、新しい住宅団地を提案。それが、「ジードルンク」です。これまでの研究をまとめた著作『ジードルンク—住宅団地と近代建築家』は、日本建築学会著作賞を受賞。この著書を読んで、私の研究室を選んでくれた学生は、ジードルンクと同時期のウイーンの集合住宅の解明に取り組んでいます。工芸大の研究プロジェクトの一環として、ジードルンクの外壁で用いられた色彩の研究を実施したこともあります。その際、学生たちの手で、建築家ブルーノ・タウト設計の世界遺産「大ジードルンク・ブリッツ」の色彩復元模型を制作。住宅団地は、建築の歴史の中では比較的新しいテーマですが、学生たちはそこから歴史的な住環境について理解を深め、さらに設計や研究のヒントも得ているように思います。



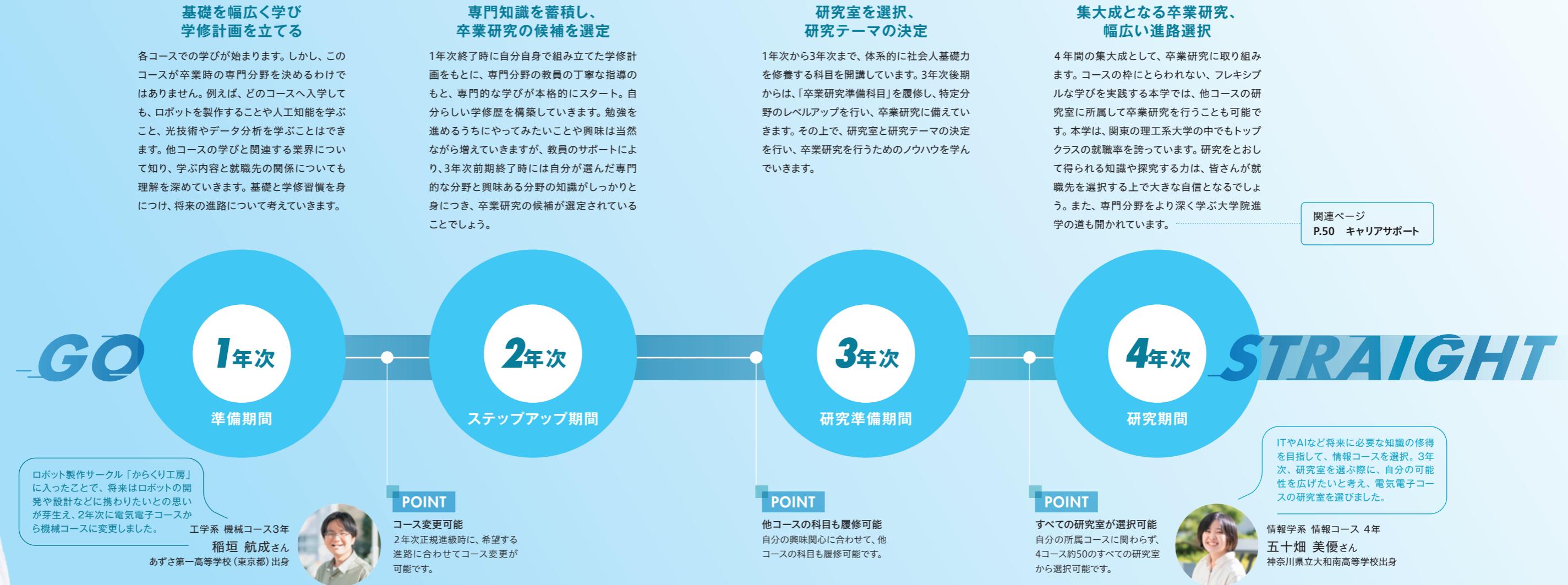
工学研究科 博士後期課程
建築学・風工学専攻3年
立花 卓巳さん
神奈川県立岸根高等学校出身
建築・風環境工学研究室

新たな環境アセスメント手法の確立を目指して

大気汚染の環境アセスメントでは、汚染物質の拡散を予測するためにブルームモデルという計算式が用いられていますが、このモデルは建物や地形の影響を考慮していないため、都市部での予測には適していません。この課題を解決するため、都市のミニチュア模型を作成し、風を当てる風洞実験を実施。汚染物質の広がりを調べることで、実現象を適切に模擬できることを検証しました。この研究成果をまとめた論文で、日本風工学会から賞をいただきました。現在は、この成果を基に、新たな環境アセスメント手法の構築に向けて研究を進めています。

東京工芸大学の4年間の流れ

本学工学部の特徴は、工学基礎と情報処理技術をしっかりと身につけた上で、目標を見据えた個性ある学修歴を構築できる仕組みと手厚いサポート体制にあります。多様化する社会を生き抜く「能力」を持つ、「強み」のある自分になることで、将来の可能性が広がっていきます。



東京工芸大学の学びの特徴

自分だけのカリキュラム

工学部の各教員がカリキュラム・アドバイザーとして必要な科目や専門分野、就職・進路の希望などを聞きながら、学生一人ひとりの「自分だけのカリキュラム作り」をサポートします。

習熟度別クラス

1年次の数学、物理などの専門基礎科目は、入学時のプレイスメントテストの結果をもとに、習熟度別にクラスを編成するので、文系や専門高校出身の方でも安心して授業を受けられます。

芸術的センスを磨く

写真大学がルーツであり、芸術学部を持つ本学ならではの自校教育科目「写真演習」、「デザイン演習」、工房科目などで、豊かな表現力、描写力を身につけたエンジニアを育成します。

1年次からの専門教育

1年次後期にコースの必修専門科目1科目（建築コースのみ必修4科目、選択2科目）を学びます。早期から専門的な学びに触れることがやりたいことを明確にできます。

情報処理に強くなる

全てのコースで1年次の必修となっている情報処理系科目4科目を学ぶことで、情報処理やデータサイエンスにも対応できるカリキュラムとなっています。



GPS-Academicで社会で必要な6つのチカラを見る化

GPS-Academicとは、「思考力」「姿勢・態度」「経験」の3つの観点で「問題を解決する力」を測定し、主体的な学びにつなげるアセスメントです。

本学では1年次と3年次にGPS-Academicの受検を通して「社会で必要な6つのチカラ」の成長を数値で「見える化」しています。

思考力



批判的思考力 協働的思考力

姿勢・態度



レジリエンス リーダーシップ

経験



対人関係 計画実行

※GPS-Academic (GPSアカデミック) は、株式会社ベネッセi-キャリアが提供する大学生向けのオンラインアセスメントで、学生の「問題解決力」を測定するサービスです。

自分だけの学修体系をフレキシブルに構築する

どのコースに入学しても1年次には工学の基礎となる共通教育を受けます。

しっかりと基礎教育科目を学びながら、1年次通年の必修科目

「学修技術と自己管理」の中で、カリキュラム・アドバイザーの教員と相談しながら、

自分の将来をじっくりと考え、2年次以降の“学びの分野”を選択します。

卒業に必要な単位数（124単位）に含まれる単位

※参考:2025年度入学生向けカリキュラム

教養科目

- » コミュニケーション・スキル科目 6単位
- » 社会の仕組み科目 4単位
- » 心と身体科目 4単位

初年次教育・自校教育科目

- » 3単位

専門教育科目

- » 専門基盤科目 22単位
- » 専門科目 70単位

任意選択
15単位

手厚いサポートで大学生活をスタート

学修技術と自己管理I・II

大学での学びに必要な考え方やテクニックを習得します。工学部の各教員が「カリキュラム・アドバイザー」として、学生と個別に面談をしながら、必要な科目や専門分野、就職・進路の希望など、各自の夢を実現するために必要な選択肢や可能性を提案し、学生一人ひとりの「自分だけのカリキュラム作り」をサポートします。

カリキュラム・アドバイザー詳細はP.20へ



情報処理に強くなるカリキュラム

本学では、工学部全学系・コースの学生に質の高い情報処理教育を行います。1年次にはどの学系・コースでも以下の4科目を必修としており、情報処理技術を基礎からしっかりと身につけます。



コンピュータ基礎

コンピュータの一般的な利用に関するプログラミングなどの基本操作方法、授業や将来的に利用するオフィス系アプリケーションの基本操作を、演習を通して体験的に学ぶことができます。

プログラミング基礎

身近で平易な問題に対する解決方法の論理的な組み立て方やその解決プログラミングの作成演習を通じてプログラミングの基礎を実践的に学ぶことができます。

情報技術入門

Society 5.0において重要となる情報技術の基礎を学び、多様な社会に関する知識・教養を学ぶとともに、ネットワーク社会において自身の行動が社会に与える影響について学びます。

情報処理概論

工学系の基盤となるコンピュータの構成要素、ネットワーク、論理演算や論理回路、システム開発手法などの仕組みや技術知識について、コース管理システムを利用して反転学習で学ぶことができます。

東京工芸大学ならではの工・芸融合の学び

工学と芸術学が融合した科目群として、「初年次教育・自校教育科目」を開設しています。

さまざまな分野の科目を履修することによって、視野の広い技術者になることが期待されています。

初年次教育・自校教育科目

1年次

写真演習

デザイン演習

本学は、「写真技術の振興によって、国家の発展に貢献する」ために設立された小西写真専門学校が出発点です。そのルーツを大切に思い、かつ現代の学生が工芸大生らしい特色ある技術を学ぶために「写真演習」と「デザイン演習」を開講しています。光・立体感、奥行きの表現を伴った写真が撮れる、Adobe Photoshopを使って写真をきれいに仕上げられる、Adobe Illustratorの初步的な操作を身につけています、などを目標としています。



マンガ工房

アニメーション工房

模型工房

写真工房

知性と感性を学ぶ



一般的に工房は作業スペースをイメージされる方が多いと思いますが、本学の工房は正規の演習科目として単位認定されるのが大きな特色です。この工房には本学ならではの分野が設けられ、それぞれ専用スペースで授業を行います。工学部の学生でもマンガを描いてみたい、芸術学部の学生でも模型を作ってみたい、そんな好奇心を満たすことができる楽しい授業が受けられる、本学ならではの制度です。

2年次

工・芸制作演習（夏季集中）

工学部と芸術学部の学生が協力して作品を制作します。芸術学部の学生は工学的技術を学び、工学部の学生はアート作品の創造を目指した創作プロセスを学びます。



芸術分野も学べる

2年次には、芸術学部の各分野についての概論科目をオーダーメードで受講することができます。

写真学概論

デザイン学概論

ゲーム概論

マンガ学概論

アニメーション概論

副専攻「プラス・ワン・プログラム」

副専攻は、所属コースとは異なる学問領域を体系的に学ぶことができる制度です。工学部には3つの副専攻があり、特定のテーマを追求して学修することで、主専攻を補強し、第二の強みを作ることができます。

国際コミュニケーション

- PICK UP授業
- ・コミュニケーションと社会
- ・国際社会と歴史

運動科学

- PICK UP授業
- ・運動生理学
- ・バイオメカニクス

工・芸融合

- PICK UP授業
- ・写真演習
- ・デザイン演習

入学から卒業まで フレキシブルにサポート

本学の特徴は、目標を見据えた個性ある学修歴を構築できる仕組みと手厚いサポート体制にあります。入学前の事前学習プログラムや、入学後のカリキュラム・アドバイザーとの「自分だけのカリキュラム作り」など、入学前から卒業まで強力に支援することを約束します。

入学前サポート

入学前の準備学習プログラム

大学での学びが円滑に進むよう、数学、理科などの入学前準備学習プログラムを用意しています。理数科目が苦手な方のために、基礎的な内容を復習できるコンテンツもあり、スマートフォンで取り組めます。

入学前の図書館利用

ひと足早くキャンパスライフを体験していただけるよう、入学前から図書館を利用することが認められています。館内の見学や所蔵図書の閲覧だけでなく、学修の場としてもぜひご活用ください。ご家族・ご友人の同伴も可能です。

カリキュラム・アドバイザーリスト

工学部の各教員がカリキュラム・アドバイザーとして、学生と個別に面談しながら、学修・生活をサポートします。3年次前期まで同じ教員が担当し、研究室配属が決まった3年次後期からは、卒業研究指導教員がその役割を引き継ぎます。



山本: 私たちカリキュラム・アドバイザー(CA)は、これまでの経験や先輩たちの体験談などを交えながら、学生にさまざまなアドバイスをしています。中野さんはこの制度についてどんな印象ですか?

中野: 入学するまでこの制度を知らなかったので、大学でも担任のような先生がいることに驚きました。高校は普通科だったので、入学時は建築の知識が全くなく、1年次はどの授業を履修したら良いのか迷いましたが、CAの先生に相談したこと、不安が解消されたことを鮮明に覚えています。

山本: それは良かった! 入学してすぐに「自分で履修計画を立てなさい」と言われても難しいですからね。工学部全体では、

新入生約8名につき1名の教員がCAとしてつき、全力でサポートしています。

中野: 先生方と学生の距離がすごく近いですよね! 大学生活をスムーズにスタートできたな、と感じています。

山本: 特に1年生については、同じCA班内で学生同士のコミュニケーションを推進するのも大切な役割です。

中野: 学生に寄り添うCAは、安心感につながるだけでなく、学びや将来の視野も広げてくれる存在ですね!

山本: その通り! 授業以外のことでも、サークルや就職活動のことなど、学生から気軽に話しかけてもらえると私もとても嬉しいです。学生には、さらに積極的にこの制度を活用してほしいですね。

勉強で困ったときは 学修支援センターへ

学修支援センターでは、主に工学の基礎を勉強する上で皆さんを感じるあらゆる質問や相談に、個別に応対します。授業でわからないことが出てきて困ったときや勉強のしかたがよくわからないときには、ぜひ「学修支援センター」に立ち寄ってみてください。カフェのような気軽な雰囲気の中で、高校での教育経験の豊富な先生や、上級生・大学院生などが応対し、いろいろな質問・相談にいつでもフレンドリーに答えてくれます。また、オンラインでの質問対応も行っていますので、ぜひご利用ください。



利用者の声

VOICE

数学が苦手だったため、大学の授業についていけるか不安でした。学修支援センターは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、授業でわからないことを個別に質問でき、理解が深まります。先生方が基礎からていねいに教えてくださるため、自分のペースで学ぶことができます。数学の成績が上がり、自信も持きました。

2年生 K.S.さん(女性)

気軽に立ち寄れる学修支援センターでは、授業の内容を補完することができます。特に物理や化学の実験レポートの作成時に、疑問をすぐ質問できることは魅力です。教育経験が豊富な先生方が丁寧に教えてくださり、上級生のアシスタントの方々からは、効果的な勉強法についてアドバイスをもらっています。

3年生 M.T.さん(男性)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
12:30~17:30				上級生	
17:30~18:30				本学教員	

場所: 厚木キャンパス本館2階
曜日: 月曜日~金曜日
時間: 12:30~18:30 (予約不要)
開室期間: 工学部の授業期間と補講期間、
自習日及び定期試験期間の月~金
※祝日と次の休講日を除く。
(大学創立記念日、夏季休暇期間、年末年始等)



学修支援センター長
片上 大輔教授

学生生活の悩みは学生支援センター <HOME>へ気軽に相談

大学生活に関する、ちょっとした質問から切実な悩みまで、専門資格を持つカウンセラーに相談できます。誰でも気軽に食事や自習ができるフリースペースも設置しています。



学生支援センター<HOME>
カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)
河野 麻美さん

学生個々の思いや希望に寄り添って学生生活をサポートします。困り事の相談に応じることに加え、成長や自己理解に向けた企画も開催します。室内はきみどり色を基調としており、リフレッシュ、休憩、前進といったイメージで過ごせます。



場所: 厚木キャンパス本館1階
日時(授業期間): 月・水・木曜日(祝日を除く): 10:00~12:00 / 13:00~18:00 (授業期間外)
不定期: 10:00~12:00 / 13:00~17:00

オフィスアワー制度

全ての専任教員が、学生の皆さんからの相談に応対できるように、研究室に必ず在室している時間(オフィスアワー)を設けています。各教員のオフィスアワーは学生ポータルサイトで確認できます。

ピア・ソーター

学生生活を送る上での悩みごとなどの相談に乗ってくれる心強い味方がピア・ソーターです。学部の上級生・大学院生が担当し、皆さんと同じ学生目線で話を聞いてくれます。ぜひ気軽に利用してください。

保証人(ご父母)との連携

保証人(ご父母)の方と連携し、学生の学修をサポートしています。保護者相談会の開催、成績通知のほか、希望者には、本学のポータルサイトから出席状況等の開示も行っています。

PROJECT
01Co-G.E.I. チャレンジ
学生による工・芸共同研究

工学部と芸術学部を持つ本学の特徴を活かし、工・芸両学部の学生が協力して行う研究を推進しています。学生から提出された申請書とプレゼンテーションをもとに、学長が委員長を務める審査委員会が審査し、支援する活動を決定します。学部や学科・学系・コースを越えた、新しい価値の創造にチャレンジしています。

※Co-G.E.I.……「Cooperative Good Educational Innovation」(協同して取り組む、優れた教育的革新)の頭文字をつなげた造語



植物の育成にフィードバックする技術を確立

目には見えない光のスペクトル情報を観測するマルチスペクトルカメラを搭載したドローンを飛ばし、大学近隣の水田などを調査。このカメラを用いることで、植物の状態や植生を把握でき、通常は視認できない植生の変化をマッピングすることに成功しました。今後は植物の育成に活かせるよう、技術の確立を目指しています。

2024年度採択事例

申請研究名	共同研究責任者氏名 所属・学年
深層学習によるリアルタイム手話認識システムの提案	近藤 多聞さん 工学研究科 博士前期課程 工学専攻2年
マルチスペクトルカメラを用いた植生の検討—近隣の圃場の調査—	小林 祐貴さん 工学系 電気電子コース4年
電磁シールド効果を有するステンドグラスの工芸融合製作—光透過性能の向上と周波数選択機能の実現を目指して—	角屋 佳太さん 工学研究科 博士前期課程 工学専攻1年
ガウディ式模型制作プロジェクト	石田 明莉さん 建築学系 建築コース4年

※所属学年は採択当時のものです



建築と芸術の視点、他コースの学生の声も取り入れて

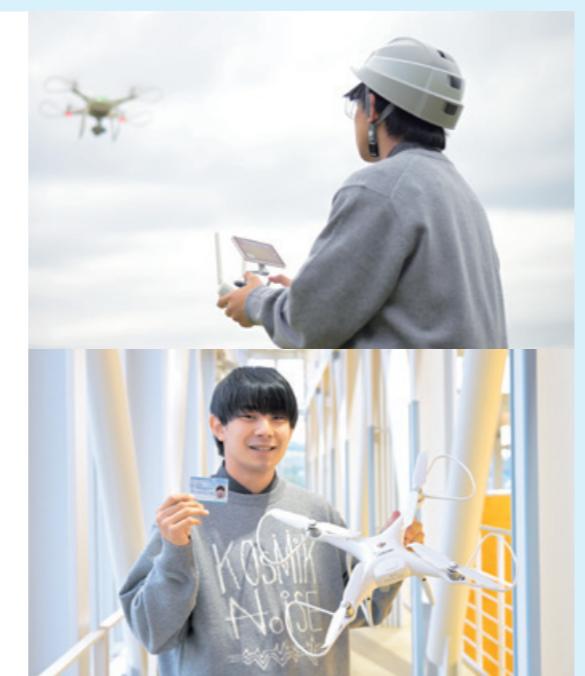
自然界の造形を取り入れた建築家ガウディのデザイン原理を、模型制作を通じて理解しようとする研究です。建築的な視点だけではなく、芸術的視点から考察するために、彼の作品の構造模型を美しく制作します。また、このプロジェクトには建築コース以外の学生の参加を募り、お互いが持つ知識や情報を共有。多様な交流は、創造性を育むことにつながっています。

PROJECT
02

ドローン国家技能資格に5名合格

(株)先端技術無人航空機トレーニングセンター(AUTC)によるドローン講習が学内で受講できる本学では、ドローン操縦技能の国家資格である「無人航空機操縦士(一等・二等)」を取得した場合、卒業要件単位に認定されます。これまでに5名の国家技能資格合格者を輩出しています。2025年度からは、資格取得後の先につながる新しい応用科目も開講しています。

\PICK UP /

本学は国家資格の
教習機関として認定資格取得した場合は
卒業単位に認定

工学系 電気電子コース 3年
岩田 悠希さん
立花学園高等学校(神奈川)出身
2024年7月
無人航空機操縦士(二等)取得

PROJECT
03

【受託研究】オフィスプロジェクト

厚木市を拠点とする企業の新社屋の基本設計プロジェクトには、建築学系 建築コースの八尾廣研究室と田村裕希研究室の学生が参加。5チームに分かれ、資料収集や事例研究に取り組み、テラスなど外部環境を積極的に取り込んだデザインや、オフィスに吹き抜け空間を創出する構造などを設計しました。これらの案はコンペ形式で競われ、実施案が決定。今後、細部の検討を重ね、実際に建設が進められる予定です。

実施案に選ばれたのは、建物の中央を貫くように大階段を配置したデザイン。ニュートラルなオフィスエリアと立体感のあるアメニティーゾーンを空間的に接続した構造になっています。条件や要望、または予算などを踏まえた実施設計は、大学の課題とは異なる力学を体験する貴重な機会といえます。

PROJECT
04

©高橋菜生写真事務所

ミドラボ

神奈川県住宅供給公社と連携した
教育・研究プロジェクト

神奈川県住宅供給公社と本学は、2018年1月に厚木市緑ヶ丘エリアの活性化に向けた連携協定を締結し、「ミドラボ」という工×芸融合による教育・研究プロジェクトを立ち上げました。大学が持つテクノロジーとアートの力を活かし、学生による建築・ランドスケープの設計提案や、健康で快適なウェルネス住宅の実証実験、マンガ・映像を用いた地域のメディア制作などを行っています。



実際に施工できるのか。住民の方々の
理想を叶えるために検証と提案を繰り返す

団地の住民の方々から生の声を聞き、企業の担当者と共にプロジェクトを進められることに興味を持ち、「ミドラボ」に参加。団地の敷地内に歩道を通す際には、オープンストリートを設計し、住民の方々の協力を得て歩道の歩きやすさを検証。いかに住民の方々が理想とする団地を実現させることができるか、その理想を実際に施工することは可能なのか、理想と現実に向き合いながら提案を繰り返すことは、卒業後に活きる経験だと実感しています。

工学研究科 博士前期課程2年
舟窪 麻友美さん
桜美林高等学校(東京都)出身

学修環境向上への取り組み

教員からの
メッセージ

建築学系 建築コース

香月 歩 准教授

「ぼてじょ」の皆さんは、工芸大女子のコミュニティづくり・居場所づくりのために日々積極的に活動してくれています。工芸大のすべての学生が生き生きと学ぶことのできる環境を整えていく上でも、「ぼてじょ」メンバーから提供される学生目線からのアイデアはとても大事なものになっています。「ぼてじょ」の活動にこれからも期待しています。

「Engineering Girls Lab (ぼてじょ)」のみなさん

工学部女子学生応援ワーキンググループ
Polytechnic×女子=ぼてじょ

建築学系 建築コース 3年
遊佐 佳加さん
宮城県宮城野高等学校出身



Q.“ぼてじょ”とは?

A.正式名称「Engineering Girls Lab.」は、東京工芸大学 (Tokyo Polytechnic University) と“女子”を組み合わせ、“ぼてじょ”を愛称にした工学部の女子学生による、女子学生のためのワーキンググループです。工学部は男子の割合が多いため、コースや学年の垣根を越えた女子学生有志が集まって活動しています。私も女子学生がより過ごしやすい環境づくりを目指して参加しました。

Q.どのような活動をしていますか?

A.工学部の女子学生が、より楽しく、より快適にキャンパスライフを送れるよう、さまざまな活動をしています。教職員の方々と意見交換を重ね、女子学生が過ごしやすい環境づくりやイベントなどを実施。学内で女子学生たちがもっと気軽に交流できる機会を設けたり、授業や研究においても女性目線の意見を大学側に提案しています。「女子Café」やInstagramによる情報発信を行い、現役生だけでなく、未来の女子学生のために活動しています。

Q.“女子Café”とは?

A.オープンキャンパスに訪れた女子高生たちのためのカフェです。男子学生の多い工学部を目指す女子高生にむけて、リアルなリケジョ生活を通して、さまざまな疑問が解消されるよう、気軽に相談できる場としてカフェを運営。カフェには飲み物やお菓子を用意して気軽に立ち寄ってもらえるように工夫しました。工芸大の工学部に入学したいと思ってもらえるように、“ぼてじょ”のメンバーが実体験を通して女子高生たちにアドバイスしました。

Q.Instagramの内容は?

A.高校生に向けて、自然豊かな厚木キャンパスで学ぶ女子学生のリアルを発信しています。メンバーそれぞれが思い立った時に投稿していますので、ぜひチェックしてみてください! そして、私たちと一緒に活動してくれる未来の“ぼてじょ”のメンバーも募集しています。工学部は女子学生が少ないため、とまどうことも多いと思いますが、“ぼてじょ”はそんな皆さんに快適に過ごせるよう努めています。皆さんとキャンパスで会えることを楽しみにしています!

授業の質を高める取り組み

ピア・レビュー
[教員相互の授業公開]

授業を他の教員が見学し、授業内容や方法について評価し、授業の改善を行っています。評価する教員にも授業方法に関する知識や技能が共有できます。

FD [Faculty Development]
研修会

教育内容・方法の改善・向上のために、大学全体、学部、コースごとに教員の研修会を毎年開催しています。

授業アンケート・顕彰など

授業を履修した学生から、科目ごとに授業内容・運営の評価データを収集することを目的としています。

教員の学生対応力向上支援
[教員の傾聴トレーニングなど]

教員が学生の悩みにしっかり向き合い、問題を改善や解決に導くために、大学は教員に対してさまざまなトレーニングを実施。傾聴の大切さや実践方法を学び、学生への声かけ方法のロールプレイも行います。

学生たちの授業の理解度向上に
貢献するために日々活動中!

学生FD委員として、学生から提出された授業アンケートを元に、学生たちがより深く講義内容を理解できるよう、大学側と意見交換をしています。先生方も学生も率直に意見を出し合うことで、授業の質の向上ができると実感しています。今後は、アンケートの回答率をさらに高めていけるように努めたいと思っています。

工学系 機械コース 3年
西園 明生さん
東京都立紅葉川高等学校出身

数字で見る 東京工芸大学 工学部

実際の学びや学生生活がどんなものなのか。
大学の「今」を、数字でわかりやすく紹介します。

1,600人以上の
学生が学んでいます

就職率

99.4%

※2024年3月卒実績

授業科目数 700科目以上

学生満足度
全科目平均 80点以上4コース 約50の
すべての研究室から選択可能借りて住みたいまちランキング(首都圏版)
4年連続
※2021~2024年学内企業説明会
年間 400社以上

東京ドーム 約4個分の敷地

入学後のイメージが
3年間で16.5 UP
ポイント45%
が演習科目新入生約8名あたり
1人の教員がサポート

No.1 本厚木

クラブ・サークル数 60団体以上

原点は写真技術と写真表現

東京工芸大学は、テクノロジーとアートの融合を目指した先駆的な大学として、これまで多くの人材を育成してきました。その前身は1923年に創設された小西写真専門学校。写真は工学的技術を使った芸術表現であり、創設当初から「テクノロジーとアートを融合した無限大の可能性」を追究し続けてきました。

時代の流れとともに写真を初めとするテクノロジーとメディアアートの最先端教育・研究機関として進化を遂げてきた東京工芸大学。しかし、その理念は、創設当初から変わっていません。

私たちはこれからもテクノロジー分野、メディアアート分野の世界的人材の育成に貢献していきます。



1944

(昭和19年)

校名を東京写真工業専門学校に改称

1923

(大正12年)

小西写真専門学校創立
[現 東京都渋谷区]

1950

(昭和25年)

新学制により東京写真短期大学
(写真技術科、写真工業科)
として発足 [東京都中野区]

建学の精神

「時勢ノ必要ニ應ズベキ寫眞術ノ實技家及研究家ヲ養成シ
併セテ一般社會ニ於ケル寫眞術ノ向上發達ヲ圖ル」

(1923年 大正12年 財團法人 小西写真専門学校)

時勢の必要に応ずべき写真術の実技家及び研究家を養成し併せて一般社会における写真術の向上発達を図る



新制短期大学及び大学としての発展

戦争中の空襲により校舎を失い、現在の中野キャンパスの地へ移転。新制の短期大学として再出発しました。1966年、工学部単科の四年制大学を開校し、1978年には大学院を設置するなど教育研究体制を充実させてきました。

1966

(昭和41年)

東京写真大学工学部 (写真工学科、印刷工学科) 開設 [神奈川県厚木市]
東京写真短期大学を
東京写真大学短期大学部に改称

1978

(昭和53年)

大学院工学研究科修士課程
(画像工学専攻、工業化学専攻) を開設
[神奈川県厚木市]

1977

(昭和52年)

大学名を東京工芸大学に改称
東京写真大学短期大学部を
東京工芸大学短期大学部に改称



旧制専門学校としての発展

前身である小西写真専門学校 (旧制) は、1923年に創設されました。戦前の教育課程では肖像写真及び美術写真、写真科学及び科学写真を取り扱い、これが今日の芸術学部と工学部に発展しました。

1998

(平成10年)

大学院芸術学研究科修士課程
(メディアアート専攻) を開設
[東京都中野区]
芸術別科写真技術専修を開設
[東京都中野区]

1994

(平成6年)

芸術学部 (写真学科・映像学科・
デザイン学科) を開設 [神奈川
県厚木市、東京都中野区]
大学院工学研究科博士課程 (工業化
学専攻、電子工学専攻) を開設
[神奈川県厚木市]

2014

(平成26年)

中野キャンパス
再整備計画が完了

2019

(平成31年／令和元年)

工学部学科を再編成
(工学科 [総合工学系] 機械コース、電気電子コース、
情報コース、化学・材料コース、[建築学系] 建築コース)
芸術学部生の就学地を中野キャンパスへ一元化

2000

(平成12年)

大学院芸術学研究科博士課程
(メディアアート専攻) を開設 [東京都中野区]
工学部電子工学科を電子情報工学科に名称変更

2023

2023

(令和5年)

大学創立100周年

大学院工学研究科4専攻を
再編し、工学専攻を設置

2024

2024

(令和6年)

工学部を3学系4コースに再編
(工学科 情報学系 情報コース、工学系
機械コース、電気電子コース、建築学系
建築コース)

2023

工学部長からのメッセージ

東京工芸大学は2023年に創立100周年を迎えました。今後も、これまでの伝統と遺産を引き継ぎながら、社会で活躍できる表現力や描写力を持つ多才な技術者を育成してまいります。

さまざまな仕事にAIが浸透することが確実な時代となり、社会で活躍する技術者には、深い専門性だけでなく、情報学に関する最低限の知識が必須となりました。このような背景に鑑み、東京工芸大学工学部では、コースの選択に関わらず、すべての学生が情報基礎を学んでから卒業するカリキュラムとなっています。また、工学部にいながら「写真演習」「デザイン演習」を学べるのは、写真教育にルーツを持ち、芸術学部を併設する本学ならではの強みです。高校では文系を選択し、大学から理系に転向したいという方にも、きっと満足していただけるさまざまな授業が履修できるようになっています。

さらに、週3日の通学日、週2日のオンデマンド授業日の組み合わせにより、学生のみなさんが在学中により多くのことにチャレンジできる授業形式としています。オンデマンド授業日を活用し、芸術学部のオンデマンド授業を受講したり、仲間とサークル活動を楽しんだり、またボランティア活動やアルバイトで社会経験を積み上げたりしてください。その経験は、就職活動などでもおおいに活かせるものと考えています。就職に関しては、入学時から、担任教員に相当するカリキュラム・アドバイザーが、履修計画や進路などをサポートする体制を整えております。就職力に定評のある本学工学部ですが、これからも社会のニーズにマッチしたより多くの技術者を未来に送り出すことを約束いたします。

工学部長 陣内 浩



創立60周年記念図書館開設





情報学系 情報コース

INFORMATION TECHNOLOGY COURSE



コンピュータの基礎から
最先端の人工知能までを学び、
将来の選択肢を広げる。

FEATURES

情報コースはこんな人にオススメ

- コンピュータが好きな人
- プログラミングを覚えたい人
- 画像認識に興味がある人
- 映像やサウンドに興味がある人
- 人工知能を学びたい人
- ネットワークを設計したい人
- 教育分野でのコンピュータ利用を推進したい人
- 情報セキュリティのプロになりたい人
- データ分析に興味がある人

情報コースの学びの特徴

学びと関連する資格・受験可能な資格

- マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト (MOS) 情報処理技術者 (ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者)
 CGエンジニア検定 マルチメディア検定 シスコ技術者認定 (CCNA) 画像処理エンジニア検定
 色彩検定 DTPエキスパート 3次元CAD利用技術者 Webデザイナー検定 フォトマスター検定
 無人航空機操縦者技能証明 など

取得可能な資格・免許

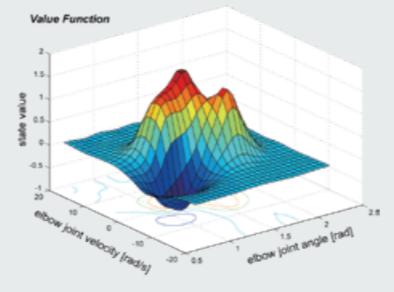
- 高等学校教諭一種 (情報) 学芸員

RESEARCH FIELDS

データサイエンス

人間×自然×社会を読み解く

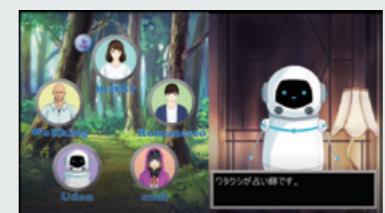
ビッグデータを活用し、人間×自然×社会を深く読み解く分野です。高度なデータ解析技術を駆使し、未来を予測する知見を養います。社会課題の解決や新たな価値創造に貢献できる人材を育成します。



AI・コンピュータサイエンス

AIとコンピュータを使いこなす

AIやコンピュータを活用し、人間では不可能な正確さとスピードで課題を解決する方法を学ぶ分野です。画像認識や言語解析など最先端技術を通して、多様な業種で活躍できる力を身につけます。



画像工学

さまざまなメディアにおける画像表現・再現を学ぶ

本学伝統の写真応用や画像技術を駆使する分野です。ドローンやLiDARを用いて現実世界を仮想空間に再現する方法を学びます。体系的な独自の教育を通じて、新しい視点で社会課題を解決する技術を習得します。



CURRICULUM

4年間のカリキュラム

1年次

情報系の基礎的な技術・知識などを含め
工学系の基盤を学ぶ

2年次

情報系の各専門分野の
入門的な技術や知識を身につける

3年次

各専門分野を広く、深く、
実践的に身につける

4年次

さまざまな分野の
技術を利用・応用し、
高度な問題解決を
実践する

専門教育科目

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 専門基盤科目 | 専門基盤科目 | 専門基盤科目 | 専門科目 |
| ○線形代数演習
○微分積分学演習
○コンピュータ基礎
○情報技術入門
○プログラミング基礎
○情報処理概論
○キャリアI
○キャリアII
△線形代数
△微分積分学
△物理学I
△化学I
△物理学II
△化学II
△物理学実験
△化学実験
△工学倫理
○情報工学演習 | △情報倫理
△情報と職業
△キャリアIII
○C言語
○データベース
○キャリアII
△線形代数
△微分積分学
△物理学I
△化学I
△物理学II
△化学II
△物理学実験
△化学実験
△工学倫理
○情報工学演習 | △企業研究I
△プロジェクトI
△プロジェクトII
△ソフトウェア工学
△データ通信
○アーキテクチャとデータ構造
△UNIX演習
△フォトグラフィとLiDARの基礎
△MATLABプログラミング
△ヒューマンインターフェース
△ゲーム・アリケーションデザイン概論
△人体動作情報解析
△統計処理
△CG概論
△コンピュータネットワーク
△オペレーティングシステム
△人間工学
△デザイン工学
△CG入門
△色彩学
△映像概論
△Webデザイン
△認知的デザイン論 | ○総合演習I
○総合演習II
○アーキテクチャとデータ構造
△情報理論
△コンピュータアーキテクチャ
△Webプログラミング
△ネットワークプランニング
△データベース応用
△CG概論
△オペレーティングシステム
△人間工学
△データサイエンス入門
△デザイン工学
△CG入門
△色彩学
△映像概論
△Webデザイン
△認知的デザイン論 |
| △情報システム構築
△感性情報学
△ソフトコンピューティング
△機械学習理論と応用
△画像機器
△ネットワークプランニング
△サウンドデザイン
△統計処理応用
△シミュレーション技術
△Javaプログラミング基礎
△人工知能
△CG制作演習
△画像メディア処理
△映像制作応用
△音声メディア処理
△システムエンジニアリング
△光画像計測工学
△特別講義I
△情報数学
△ゲームシミュレーション
△画像処理プログラミング演習
△CGプログラミング | △企業研究II
△プロジェクトII
△データサイエンス入門
△UNIX演習
△論理回路
△ヒューマンインターフェース
△人体動作情報解析
△CG概論
△色再現工学
△Pythonプログラミング
△データサイエンス入門
△データサイエンス入門
△CG入門
△色彩工学
△映像概論
△光情報工学
△イメージング入門 | △情報セキュリティ
△情報システム構築
△感性情報学
△ソフトコンピューティング
△機械学習理論と応用
△画像機器
△ネットワークプランニング
△サウンドデザイン
△統計処理応用
△シミュレーション技術
△Javaプログラミング応用
△CG制作演習
△データマイニング
△映像制作応用
△音声メディア処理
△プリティングシステム
△光画像計測工学
△特別講義I
△情報数学
△ゲームシミュレーション
△画像処理プログラミング演習
△CGプログラミング | ○卒業研究A
○卒業研究B
△ハーチャリティ
△知的財産論
△特別講義II |

- 専門科目
 ○卒業研究A
 ○卒業研究B
 △ハーチャリティ
 △知的財産論
 △特別講義II

○…必修科目 △…選択科目

CLOSE UP LESSONS



クローズアップ授業

MATLABプログラミング (2年次)

人工知能や機械学習の開発にも用いられるプログラミング「MATLAB (マトラボ)」。数値解析に特化し、C言語やC++、Java、Pythonなどのプログラミング言語とも連携できるという特徴を持っています。この授業ではMATLABを利用したプログラム開発をはじめ、行列ベクトル演算や数値データ解析、グラフ化の基礎的プログラミングスキルを習得。データサイエンスや画像処理分野などの土台となる知識を培います。

フォトグラメトリとLiDARの基礎 (2年次)

被写体を多視点から撮影して取得した画像データを解析し、立体的な3DCGモデルを構築するフォトグラメトリ。画像データを得るための適切な条件設定を学び、LiDARのレーザ光による測距の原理や利点などを解説します。3DCGの構築に使用されるSfMソフトの基本操作法も身につけられます。

スポーツデータ解析 (3年次)

試合の戦略や相手チームの分析などに活用され、競技者のパフォーマンスにも貢献するスポーツデータ解析。授業では、各種スポーツの活用事例を踏まえて、その有用性を理解。統計学的基礎や計測技術の理解を深め、実際にプログラミングを用いて、基本的なスポーツ解析を実行できるまでの素養を身につけます。



FACILITIES

施設紹介

ワークルーム

2023年6月に新設されたワークルームは、「データサイエンス」「AI・コンピュータサイエンス」「画像・写真応用」の研究に関わる先端機器が設置されています。ドライビングシミュレータ、ドローン、モーションキャプチャなどを用い、「情報」の学びを深めながら幅広く活用していくことができます。



FUTURE FIELD

将来のフィールド

IT (SIer・アプリケーション開発・インターネット関連など) やゲーム、映像メディアなど多様な分野で、システムエンジニアやプログラマーとして、社会問題の解決に取り組んでいきます。

IT関連

- » パソコン
- » 携帯端末
- » 放送
- » 情報家電

情報関連

- » インターネット
- » プログラマー
- » 映像編集
- » Web制作

サービス業関連

- » 金融
- » 商社
- » レジャー設備
- » 警備保障
- » 各種販売業

印刷・メディア関連

- » エンタテインメント
- » CG制作
- » ゲーム制作
- » 映像制作

STUDENT'S VOICE

学生ボイス



社会に出てから必要になる
コミュニケーション能力が磨かれた

工学に興味はあったものの、高校時代は文系だったため不安でしたが、勉強面をサポートしてくれる学修支援センターがあることが決め手になり、工芸大へ。入学後は、「キャリアI・II」の授業で、初対面の人と話す練習や人前での発表を経験。ほかにも文章表現や、敬語、社会人のマナーなども身に付き、社会で必要なコミュニケーション能力が磨かれていると感じています。



情報学系 情報コース1年 森山 雄一朗さん
神奈川県立座間高等学校出身

研究室紹介

LABORATORY INTRODUCTION

データマイニング研究室

北島 良三 准教授

学部生／男子11名、女子1名



情報学系
情報コース4年
四方 涼音さん
神奈川県立
大船高等学校出身

新たな価値を見つけるために、膨大なデータを解析

データマイニングとは、売上の予測や市場の動向など、膨大かつ多様な情報の中から、傾向や関連性を見出す分析手法です。この研究室では、社会にあふれる膨大なデータを分析し、そこから価値ある知見や新たな発見を見つけることを

テーマに、機械学習や統計解析などの技術の活用に取り組んでいます。マーケティングや医療、教育などのさまざまな分野でのデータ活用に挑戦し、実社会に役立つ新しい発見を追求しています。

造詣の深さは、分かりやすさにつながることを実感

研究を進めていると、自分一人ではどうすることも出来ず、行き詰まってしまうこともあります。そんな時に頼りになるのが、北島先生です。データ分析や機械学習、統計学など幅広い分野に造詣が深く、専門的な事柄や技術も分かりやすく指導し

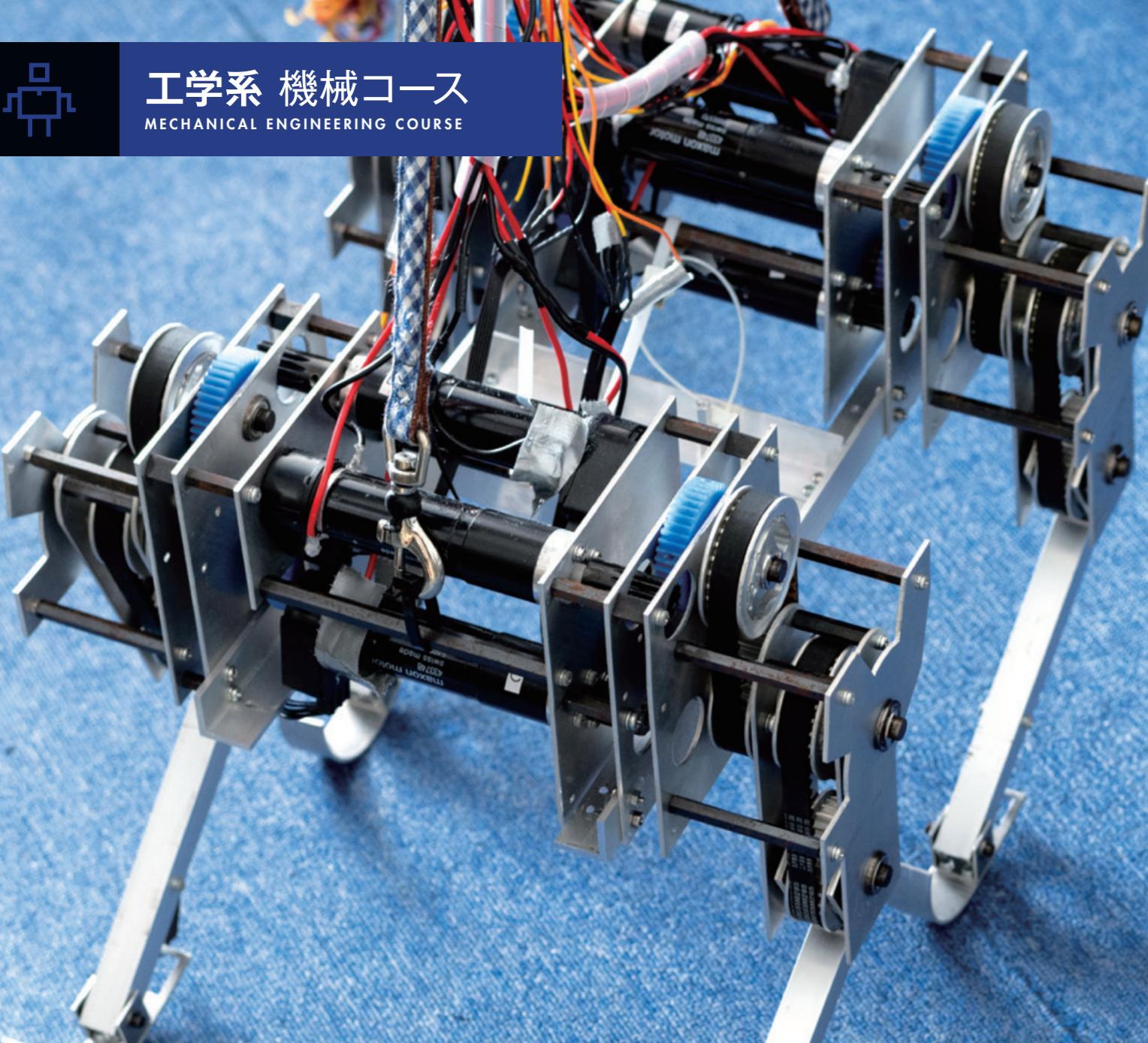
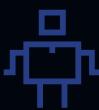
てくれています。その人柄は、とっても朗らか。研究室の学生たちと楽しく談笑している姿が印象的です。先生からアドバイスを受けながら、日々、卒業研究に取り組んでいます。

教員からのメッセージ

研究テーマを決めるところから卒業研究がスタートします。研究室のテーマがデータマイニング(データから特徴を抽出する)ですので、研究したい内容に加えて、その内容を調べるにはどのようなデータが必要なのか、そのデータは入手可能なのか、などデータについても考える必要があります。データからの特徴抽出は容易な作業ではありませんが、その分、データに潜む特徴を見つめた時の喜びはとても大きいです。大変さもありますが楽しいデータ解析を一緒に楽しみませんか?



データマイニングした結果を議論している様子



一人一台のロボットを作り
その機能を高めていくことで
多面的な能力を身につける。

FEATURES

- 機械コースはこんな人にオススメ
- モノづくりを学びたい人
 - プログラミングを学びたい人
 - 3Dプリンタでモノづくりをしたい人
 - ロボット製作をしたい人
 - 製図・CADを学びたい人
 - メカ・回路を学びたい人
 - 知能機械を学びたい人

学びと関連する資格・受験可能な資格

CAD 利用技術者 情報処理技術者 (ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者)

画像処理エンジニア検定

など

取得可能な資格・免許

高等学校教諭一種 (工業) 学芸員

機械コースの学びの特徴

RESEARCH FIELDS

機械工学

機械を作る

モノづくりの基本は、設計技術（製図）、製作技術（実習）、検証技術（実験）で構成されます。機械系の力学を主とした理論系科目と併せて、機械工学分野の学びは、他の全ての分野の基本となります。

計測制御工学

機械やロボットを動かす

機械システムの計測制御技術は、機械を効率よく、高精度で動かすために欠かせない技術要素です。医療・福祉・介護ロボット、災害対応ロボット、エンターテインメントロボットなどのさまざまな自律移動ロボットの基本となる技術です。

ロボット工学

ロボットを作る

ロボット工学とは、ロボット（知能機械も含む）に必要な技術全てを含む幅広い分野の総称です。ロボットを作るために必要な数学・物理、機械（メカトロニクス）、電気（エレクトロニクス）、ハードウェア、ソフトウェアを学びます。

人工知能

人工知能を操る

人間工学、デザイン工学、ゲーム・アプリケーション、ヒューマンインターフェース、認知科学、機械学習、ソフトコンピューティング、感性情報学など、幅広い分野について学びます。

コンピュータ応用

コンピュータを使う

情報メディア、画像工学、人工知能といった幅広いフィールドに加えて、情報倫理、システムエンジニアリング、知的財産についても学びます。研究分野として、医療と工学、芸術と工学といった分野横断的で学際的なテーマを扱います。

CURRICULUM

4年間のカリキュラム

1年次

ロボットや機械に
必要な工学の基礎を
幅広く学ぶ

2年次

機械の基礎を学びながら、
機械工作やロボット実験などを実習する

3年次

ロボティクスや製作実験など、
より専門的な内容に挑む

4年次

卒業研究に
1年間取り組み、
機械エンジニアとしての
能力を獲得する

専門教育科目

専門基盤科目

- 線形代数演習
- △ 微分積分学演習
- コンピュータ基礎
- 情報技術入門
- プログラミング基礎
- 情報処理概論
- キャリアI
- キャリアII
- △ 線形代数
- △ 微分積分学
- △ 物理学I
- △ 化学I
- △ 物理学II
- △ 化学II
- △ 物理学実験
- △ 化学実験
- △ 工学倫理

専門基盤科目

- △ 工業技術概論
- △ 職業指導A
- △ 職業指導B
- △ キャリアIII
- 組込みエンジニアリング
- 機械基礎製図
- Cプログラミング
- 機械工作実習
- 機械設計製図
- △ 機械力学I
- △ 機械力学II
- △ 計測工学
- △ 企業研究I
- △ プロジェクトI
- △ プロジェクトII

専門基盤科目

- △ インターンシップ
- △ 工学英語研究I
- △ 企業研究II

専門科目

- 総合演習I
- 総合演習II
- △ 流体力学
- △ 機械力学I
- △ CAD/CAM
- △ モータ工学
- △ CAD/CAM
- △ モータ工学
- △ 三次元CAD
- △ データ構造
- △ 熱力学
- △ 現代制御
- △ ロボティクス
- △ 流体力学
- △ 制御工学
- △ 機構学
- △ コンピュータアーキテクチャ
- △ システム工学
- △ 情報理論
- △ 加工学
- △ 特別講義I
- △ ロボットビジョン
- △ 材料力学

○…必修科目 △…選択科目

CLOSE UP LESSONS

クローズアップ授業



機械力学II (2年次)

機械の故障の原因となる「振動」。自動車や飛行機、または家電やPCなど精密機器の製造においても振動現象の理解は非常に重要です。授業では多自由度系の振動における自由振動、強制振動、基礎方程式、振動モードなどの考え方を身につけるだけでなく、運動方程式や機械力学の素養を培います。基礎的な数学と物理を網羅した「機械力学I」を基にして、理論とリンクさせながら振動現象について考察します。

ロボットエンジニアリング (1年次)

設定された課題に沿って、競技ロボットを製作。電子回路における素子の基本的な使い方や、電子回路と論理回路の設計などの学びを通して、機械、電気、情報の3分野にまたがるロボット技術に触れ、モノづくりの基本を体験します。製作は他学生と協力して行うため、コミュニケーション力も磨かれます。

組込みエンジニアリング (2年次)

授業では、スマートフォンやテレビ、自動車などに組み込まれているコンピュータシステムを考察。ハードウェアやソフトウェアの基礎から、信号処理やセンサといった周辺技術までを体系的に学び、私たちの暮らしに組み込まれているシステムの役割や機能の理解を深めます。

FACILITIES

施設紹介

工作室

工作室（画像左）は、さまざまな機械加工やものづくりに必要な工作機械が置かれている部屋で、授業や研究における金属加工や部品開発などの作業を支えます。また、同室に設置された5軸マシニングセンタ（画像右）は、コンピュータ制御によって複雑で立体的な加工を1台で自動的に行うことができる大変優れた工作機械です。



FUTURE FIELD

将来のフィールド

自動車、輸送機器（鉄道・航空機・造船）や産業用ロボットなど、モノづくりの業界で、研究開発・設計や品質管理などを担い、生活を豊かにする取り組みに貢献しています。

電子情報通信関連

- » モータ
- » 電子関連機器
- » ソフトウェア開発
- » 警備システム

機械関連

- » ロボット
- » 工作機器
- » 金属加工品
- » 生産機械

その他製造業関連

- » プラント
- » 建設業
- » 金属加工品
- » 医療機器

輸送機器関連

- » 自動車
- » 車両・造船
- » 建設機械
- » 鉄道

STUDENT'S VOICE

学生ボイス

本格的なモノづくりに挑戦!
機械コースの醍醐味を体感



“ロボットを作りたい”その想いから、工芸大へ。ロボットの性能とともにデザイン性も重要視していたため、芸術にも強い工芸大を選びました。「機械工作実習」では、3Dプリンタなどを使ったモノづくりに挑戦し、機械コースの醍醐味を体感！ロボットを自作する際にも活用できるノウハウを得ることができました。機械の扱い方を初步から学び、作品が出来上がった時の喜びは忘れられません。



工学系 機械コース 2年 島田 未怜さん
青稲高等学校（東京都）出身

LABORATORY INTRODUCTION

研究室紹介

ロボットビジョン研究室

鈴木 秀和 教授

学部生／男子8名
院生／男子8名



工学研究科
博士前期課程2年
佐藤 拓都さん
神奈川県立
上溝南高等学校出身

「RoboCup Japan Open 2024」中型リーグで優勝

研究室では、サッカー競技をする自律移動型ロボットを製作しています。研究だけに留まらず、実用性を追求し、その一環として、国際的なロボットコンテストに参加しています。視覚システムや全方向に移動可能な機構などソフトやハードの

開発に取り組み、「RoboCup Japan Open 2024」では、サッカー競技の中型リーグで優勝することができました。イベント後には打ち上げをして盛り上がるなど、雰囲気も良く、アットホームな研究室です。

誠実であり厳格、そしてユーモラスな先生のもとで

鈴木先生は学生に対してとても誠実な方です。研究室では週に1回、鈴木先生とディスカッションを行う機会がありますが、先生は学生や院生一人ひとり丁寧にアドバイス。私自身も何度も先生のサポートに助けていただきました。また、就職活

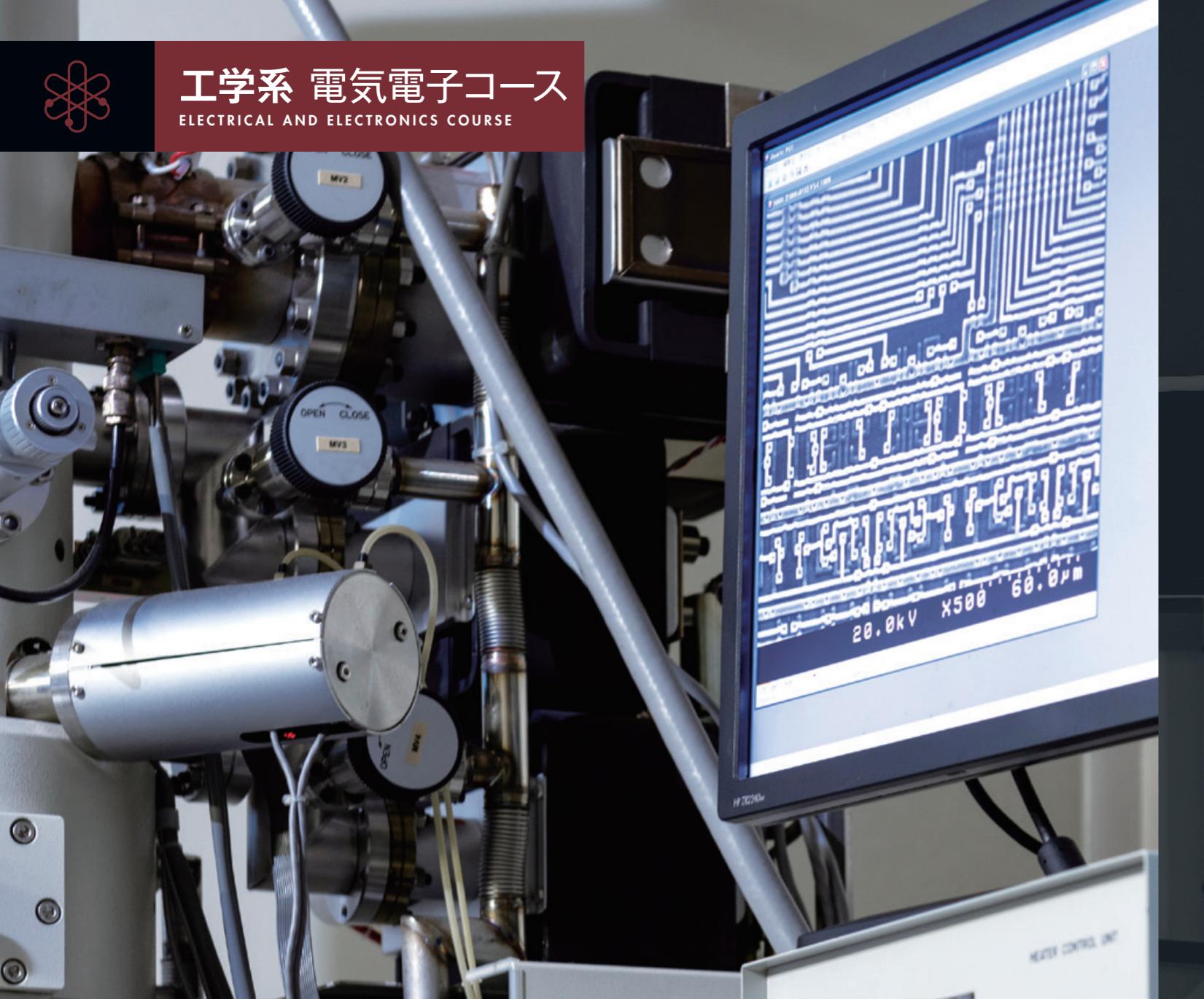
動に対してもたくさんの助言をいただくことができ、本当に感謝しています。とても厳格な先生ですが、ユーモアの精神もたっぷりです。定例報告会などでは、毎回のように笑いが起きます。

教員からのメッセージ

ロボットコンテストでは競うだけでなく、他の参加大学のチームメンバーとの交流も醍醐味の一つです。競技の合間にお互いのロボットを持ち寄って技術交流したり、懇親会の席では大学生らしい情報交換をしたり、学生同士で会話も弾みます。また、学生は競技大会以外にもさまざまな展示会やデモイベントで活躍しています。イベントの設営・運営、来場者対応や他の出展者との交流など、大学の外でも多くの社会経験を得ています。



県主催イベント（ロボット操縦デモ）出展の様子



エレクトロニクスを学び、
未来をつくる力を身につける。

電気・電子は、すべての産業を支える大切な技術です。指定科目を履修すれば、電気主任技術者の学科試験が免除されるほか、中学・高校の教員免許（数学）の資格も取得可能です。回路作製やコンピュータを使ってモータや表示装置を制御したり、ワクワクするような実習があります。少人数制で安心して学べます。

FEATURES

電気電子コースはこんな人にオススメ

- スマートフォンの仕組みを知りたい人
- 電子デバイスに興味がある人
- 環境エネルギーを学びたい人
- 自動車業界で活躍したい人
- 新しいものを作りたい人
- 電気関連の資格を取りたい人

学びと関連する資格・受験可能な資格

- 電気主任技術者（第一種・第二種・第三種）※所定の単位を取得後、学科試験免除（経済産業省認定）
電気工事士（第一種・第二種） 情報処理技術者（ITパスポート、基本情報技術者、応用情報技術者）
など

取得可能な資格・免許

- 高等学校教諭一種（数学） 中学校教諭一種（数学） 学芸員

電気電子コースの学びの特徴

RESEARCH FIELDS

電気工学

エネルギーを制御する

電気エネルギーはエネルギー利用の主軸を担っています。電気の発生から利用までを幅広く学びます。また環境問題、資源問題の視点からも電気エネルギーを考えます。

電子工学

電子機器を作る

トランジスタや集積回路を用いた電子回路やプロセッサ技術は、スマートフォンやロボットの動作に欠かせない要素です。電子回路の基本動作から応用までを、コンピュータシミュレーションなども駆使して学びます。

情報通信

伝える仕組みを作る

パソコン、タブレット、スマートフォンやスマートスピーカーに関する技術や、情報を伝える光通信・電波について、エレクトロニクスの視点から学びます。

光応用

光を使う

光を自由自在にコントロールするために、画像入力などに用いる半導体、記録や伝送などに用いるレンズやレーザなどの光に関するいろいろな部品とその応用に関して学びます。

先端材料

新しい材料を作る

エレクトロニクスの発展には新しい機能を持った部品の創造が不可欠です。既存技術をしっかりと学んだ後にスマートフォンや太陽電池向けの新しい電気電子材料の創造について学びます。

CURRICULUM

4年間のカリキュラム

1年次

幅広い基礎知識を身につけ、実験で電気電子の面白さを理解する

2年次

各分野の専門知識を広く確実に学修し、創造力の土台を形成する

3年次

各自の興味や関心を活かした専門分野を深く学び、創造力を養う

4年次

研究室で先端の科学研究に取り組みながらプロの力を身につける

専門教育科目

専門基盤科目

- 線形代数演習
- 微分積分学演習
- コンピュータ基礎
- 情報技術入門
- プログラミング基礎
- 情報処理概論
- キャリアI
- キャリアII
- △線形代数
- △微分積分学
- △物理学I
- △化学I
- △物理学II
- △化学II
- △物理学実験
- △化学実験
- △工学倫理

専門基盤科目

- △幾何学A
- △確率・統計学A
- △幾何学B
- △確率・統計学B
- △キャリアIII
- △企業研究I
- △プロジェクトI
- △プロジェクトII

専門基盤科目

- △インターンシップ
- △工学英語研究II
- △企業研究II

専門科目

- 電気電子応用実験II
- 総合演習I
- 総合演習II
- 電気電子基礎実験II
- 電気電子演習I
- 電気電子応用実験I
- 電気電子演習II
- △電磁気学I
- △電磁気学II
- △電気電子計測
- △メカトロニクス
- △発電工学
- △半導体工学
- △物理工学
- △電気回路
- △論理回路
- △Cプログラミング
- △CADシミュレーション
- △無機電子材料

- 卒業研究A
- 卒業研究B
- △電気法規及び施設管理
- △電波工学
- △特別講義II
- △制御工学
- △ワーエレクトロニクス
- △特別講義I
- △デジタル回路設計
- △解析学B
- △電気機器設計及び電気製図
- △応用数学
- △微分積分学応用B
- △通信工学
- △送配電工学
- △光情報機器・設計
- △電気・電子材料概論
- △電気機器学
- △電子回路
- △光物理性
- △光エレクトロニクス
- △有機電子材料

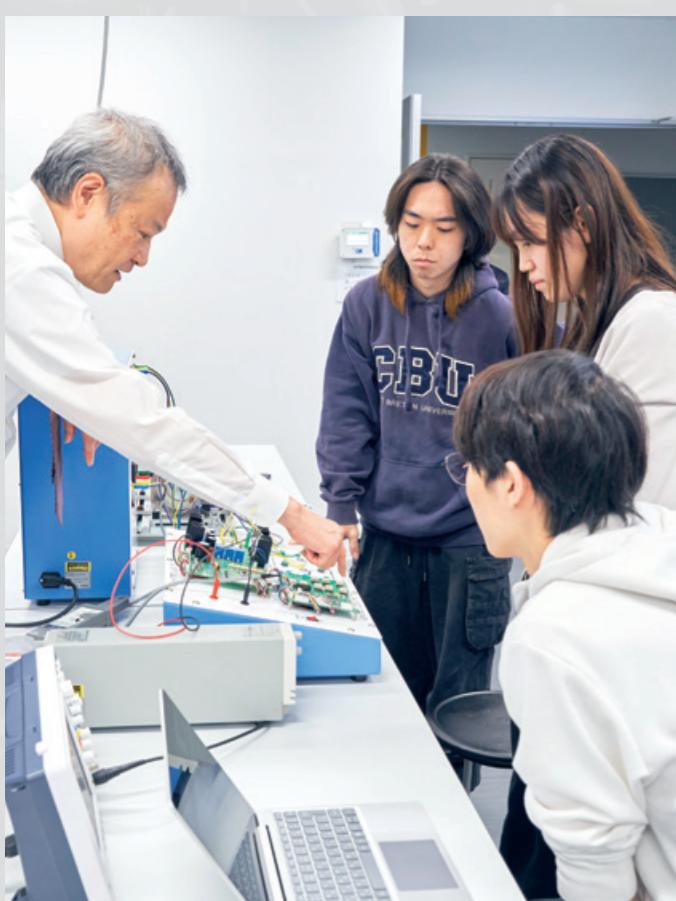
専門科目

- 電気電子基礎実験I

○…必修科目 △…選択科目

CLOSE UP LESSONS

クローズアップ授業



FACILITIES

施設紹介

クリーンルーム

集積回路や太陽電池を製作する際に大敵となるのが、空気中のホコリやゴミ。クリーンルーム（画像右）に入室する前に、エアシャワー（画像左）で衣服に付いたホコリを除去します。室内には高性能フィルタで清浄な空気が導入され、超純水や高純度薬品を用いた実験が可能なこの施設は、次世代電子素子の研究や太陽電池製作の授業で活用されています。



FUTURE FIELD

将来のフィールド

半導体、家電、医療機器、光学機器などの業界で、製品やデバイスの開発・設計、品質管理、建築物の技術研究などを担い、現代社会の基盤を支えています。

電気関連

- » 電気設備
- » 道路・鉄道
- » プラント

電子関連

- » デジタル家電
- » 精密機器
- » 電子部品
- » 半導体
- » AVカメラ

その他製造業関連

- » 機械設備関連
- » 空調設備関連
- » グラフィックス関連
- » 光学計測器

情報通信関連

- » パソコン
- » 携帯端末
- » ネットワーク
- » 情報家電

STUDENT'S VOICE

学生ボイス



暮らしを豊かにする“電気”について学びたいと考え、充実した学修環境が整う工芸大を選びました。2年次の授業「発変電工学」では、再生可能エネルギーを考察。水力・火力・原子力それぞれの発電方法や変換法、また送電などの発電メカニズムの学びを深めたことで、持続可能なエネルギーへの関心が高まりました。将来はエネルギー問題の解決につながる技術の開発に携わりたいです。



工学系 電気電子コース 2年 金澤 彩夏さん
駿台甲府高等学校（山梨県）出身

研究室紹介

LABORATORY INTRODUCTION

応用分光学研究室

實方 真臣 准教授

学部生／男子5名
院生／男子2名



工学系
電気電子コース4年
都志 歩夢さん
神奈川県立
茅ヶ崎西浜高等学校出身

知識の広がりや成長を実感する研究室

和やかな雰囲気が魅力の応用分光学研究室。先生や先輩、仲間との距離が近く、気軽に質問や意見交換ができる環境が整っています。研究では、世界初のプラズマ分光診断法の開発に成功するなど多くの成果を積み重ねています。実験

をする際は、研究テーマごとに先輩を含めたチームで動くことが多く、各自が自由に研究を進める一方で、チーム内でのサポートやアドバイスが活発です。そのため、知識が広がりやすく、自身の成長を実感できる研究室です。

先生の人柄は学びのメリハリにつながる

實方先生は、常に笑顔でフレンドリーなため、その雰囲気が研究室全体にあふれています。たわいもない雑談から専門的な話まで、とても楽しいです。一転して、研究発表や卒業論文の指導といった重要な場面では、適切かつ厳格な姿勢で指

導をしてくださいます。私たち学生の成長をしっかりサポートしてくださいとの姿はとても印象的です。普段は明るくて接しやすく、大事な場面では学生の気持ちを引き締めてくれる、尊敬できる先生です。

教員からのメッセージ

話し声や笑い声の絶えない賑やかな研究室です。研究・勉強・遊びを、元気にのびのびとやることをモットーにしています。地域の子供たち向けに毎年開催している『わくわくKOUGEIランド』は、研究室における夏の恒例行事です。学生たちは自由な発想で企画・実演し、理科実験イベントを楽しく盛り上げてくれています。また、節目節目に行われる研究室の懇親会には、研究室OBも参加することが多く、世代を超えた交流も盛んです。



夏の理科実験イベント『わくわくKOUGEIランド』

CLOSE UP LESSONS

クローズアップ授業



建築設計製図Ⅲ（3年次）

多様化する現代の地域社会に応じたコミュニティ施設と、都市における地域との関係に考慮したワーキングプレイスの建築デザインに取り組みます。学生は都市環境、敷地条件、使用用途の調査を実施し、建築の設計条件を自ら設定して設計を提案。建築設計のプロセスを理解し、実践することで理解を深めます。各自で制作した図面や模型について教員から指導を受けてブラッシュアップし、作品をプレゼンテーションして授業内で発表します。

建築環境学実験（3年次）

建築環境に関する深い温度、換気、照度、風、音などさまざまな実験を体験します。学生は3人で班を作り、班ごとに測定器を用いて実験を行います。実験レポートの作成を通じて計測データのまとめ方や考察方法を学びます。最後に発表を行い、論理的に分かりやすく伝える技術を身につけます。各実験の学生数は教員1人に対して9人！学生と教員の距離がとても近い授業です。

近代建築史（3年次）

19～20世紀後半までの西洋と日本の建築について学びます。各回の講義では、建築の近代化の過程に現れたさまざまなトピックを取り上げ、その特徴や背景、主要な建築作品に着目し、近代建築史の基本的な流れをおさえます。当時の建築思潮の中心となったモダニズム（近代主義）にスポットを当て、建築の意味や意義について考えます。

FACILITIES

施設紹介

大型乱流境界層風洞

国内の大学では最大級の規模を誇る大型風洞で、建築物に作用する風力・風圧力、風による高層建物の揺れ、高層建物周辺のビル風などを調べることができます。測定機器として、建物全体に作用する風力を測定する6分力天秤、384点の瞬間圧力を同時に計測できる多点同時風圧計測システムなどを備えています。



FUTURE FIELD

将来のフィールド

総合建設（ゼネコン）、設計事務所、建築設備、ハウスメーカー、都市コンサルタント、空間デザインなどの業界で、建築設計、施工管理、建築家、インテリアデザイナーなど、建築のプロとして活躍していきます。

総合建設業・専門工事業

- » 建築施工管理
- » 設備施工管理
- » 土木施工管理
- » 設計
- » 研究開発

設計事務所

- » 意匠設計
- » 構造設計
- » 設備設計
- » 環境設計

公務員・公社

- » 建築指導
- » 施工監理
- » 都市計画
- » インフラ計画

ハウスメーカー

- » 住宅設計
- » 住宅施工管理
- » 住宅販売
- » 研究開発

STUDENT'S VOICE

学生ボイス

設計の手がかりになる専門的な授業
幸せづくりに貢献したい



「幸せづくりのお手伝い」。ある建築士さんの言葉から、快適に過ごせる空間を創り出すことで、多くの人々の幸せに貢献したいとの想いが芽生え、建築コースを選びました。1年次に建築分野の基礎知識を培い、2年次の「建築計画Ⅱ」の授業ではより専門的に。模型のランドスケープを踏まえた上で、建築方法や建築作品の特徴など多様な視点から深く考察した経験は、設計の手がかりになっています。



建築学系 建築コース 2年 船川 葵衣さん
獨協埼玉高等学校（埼玉県）出身

研究室紹介

LABORATORY INTRODUCTION

建築意匠I研究室

山村 健 准教授

学部生／男子14名、女子6名
院生／男子6名、女子3名



NAVIGATOR

建築学系
建築コース 4年
石田 明莉さん
神奈川県立
生田高等学校出身

活発な研究室で深める建築の理解

本研究室では、建築デザインと建築論の両輪によって研究を進めます。スペインの建築家ガウディや、現代建築などの作品の図面と言説から思想を読み解き、デザインを再解釈した模型を制作。設計手法やディティールを分析し、建築の理解を

深めています。研究室では、学部生も院生も一緒に活動しているため、さまざまな意見交換が活発に行われます。ゼミの活動だけでなく、自由参加で朝にスポーツを楽しみ、メンバーと一緒に交流を深めるなど、とても活発な研究室です。

新たな視点の獲得につながる先生の言葉

朝のスポーツには、山村先生も参加されることが多く、建築から離れて一緒に汗を流します。先生は、建築家であり、ガウディの研究者。そのため、建築に関してはとても厳格で細部にまでこだわります。その姿勢や、自分では気づけなかった設計の違

和感を見抜く視点には、多くの気づきがあります。言葉もストレートで、最初は少し怖かったですが（笑）、根拠をもとにした的確なアドバイスは、心に響き、新たな視点の獲得につながっています。

教員からのメッセージ

石田さんは、Co-G.E.I.チャレンジの発起人として研究室で大活躍してくれています。ガウディの模型を介したゼミを開設したいと考えていた矢先に、彼女から研究室内で提案してくれました（P.22 参照）。そこから建築意匠I研究室では、現代建築を理論的に再解釈するセオリー・スケープゼミ、都市の不可視な空間構造を可視化するアトラス・スケープゼミ、建築写真ゼミにガウディゼミが加わったことで四軸で研究を展開しています。他方で、国際コンペに学年横断で取り組むことで、理論と実践の併走に日々励んでいます。



パレセロナの「王の広場」にて。中世の遺構に現代的な空間の利用法を発見して必死にスケッチする様子。

研究室一覧

LABORATORY

特定の分野に集中し、専門性を高める研究室での学び。
工学部の個性あふれる研究室をご紹介します。

情 情報コース
機 機械コース
電 電気電子コース
建 建築コース

※コースのアイコン表記は、研究室の研究テーマがコースの学びと関連性が強いものを記載していますが、必ずしも一致するものではありません。
研究室の配属に関しては、入学後3年次に詳細をお知らせする予定です。

01 映像メディア研究室 森山 �剛 教授	02 運動知能研究室 神原 裕行 教授	03 データマイニング研究室 北島 良三 准教授	04 数理物理学研究室 佐藤 純 准教授	05 非平衡統計力学研究室 江崎 ひろみ 教授	06 応用数理研究室 石黒 裕樹 助教	07 情報メディア研究室 田村 徹 教授	08 メディア応用研究室 上倉 一人 教授	09 映像情報処理研究室 姜 有宣 教授
情 医療・福祉 スマート農業 音・映像解析 ゲーム プログラミング 映像制作	機 次にどうすべきか人に気づかせる 人にとって一番大切なことは主体的に生きること。それをさりげなく助け、支える情報技術を研究している。	情 機 人間共生システム研究室 片上 大輔 教授 人工知能 人間エージェント相互作用 人狼知能 霊感工学 同乗者エージェント ゲーム情報学	機 人間とシステムの関係を創造する 人工知能や社会心理学などを学びながら、人間とシステムが柔軟にやりとりする新しい人間共生世界の構築を実現する。	情 機 3Dシステム研究室 曾根 順治 教授 バーチャルアリティ MEMS 力触覚提示 設計・特性解析 ゲーム情報学	機 VRやMEMSデバイスの開発 3次元設計、MEMS、ロボット技術を用いた高密度触覚VRシステムの研究や、コミュニケーションロボットの研究をしている。	情 機 コンピュータネットワーク研究室 行谷 時男 准教授 可視光通信 光計測 集積回路 組込みシステム 分子分光 光を使った通信と計測で社会に貢献	電 建築設計 建築の配置学 関係性のデザイン 空間のアーカイブ 建築とアート 景色につくる 研究室では「体験の時代」をキーワードに、自由でフラットな雰囲気のなかで、各自が制作に没頭しています。	電 建築設計計画Ⅱ研究室 田村 裕希 教授 環境建築 自然換気 健康性 ZEB エネルギー・マネジメント 次世代環境建築に関する研究 建築の手法・設備の手法の両面から、快適な室内環境を最小限のエネルギーで実現する建築環境システムについて研究をしている。
02 運動知能研究室 神原 裕行 教授 計算論の神経科学 運動シミュレーション 運動学習モデル モーションキャプチャ バーチャルアリティ 強化学習	機 体を動かす脳を理解する 人の動き方を調べる計測実験や身体運動の計算機シミュレーションを通じて、脳が体を動かす仕組みを理解するとともに工学的に応用する研究をしている。	03 ネットワークシステム研究室 北村 光芳 准教授 低コスト 省電力 高可用性 サーバシステム サーバ管理 サーバの復旧 次世代サーバシステムの実現 SNSやeコース等のインターネットサービス用サーバシステムの省電力化や安全運用を効率的に実現する管理システムを開発する。	04 ウェアラブルロボット研究室 辛 德 教授 生体信号処理 ヒューマンインターフェース ロボット BMI / BCI 機能性薄膜 光触媒 ガスセンサー 有機EL スピッタ 蒸着 脳から学ぶ知識をロボットに応用 人間の様々な生体信号を計測・解析し、ロボットの制御に適用するヒューマン・インターフェースの研究をしている。	05 データマイニング研究室 北島 良三 准教授 データから特徴を抽出する 企業発信文書やアンケート調査結果等のデータから特徴を抽出し、企業活動や人間行動の理解を目指す。	06 科学総合分析研究室 大嶋 正人 教授 環境分析 環境測定 データ分析 解析用プログラム開発 理論計算化学 データ分析と反応シミュレーション 企業発信文書やアンケート調査結果等のデータから特徴を抽出し、企業活動や人間行動の理解を目指す。	07 ロボットビジョン研究室 鈴木 秀和 教授 自律移動ロボット サッカーロボット 視覚システム 工学教育 自分で考えて動くロボットを開発 サッカーロボットや迷路を解くロボット等を題材にして、「自分で考えて動く(=自律)ロボット」の研究・開発を進めている。	08 心理情報学研究室 加戸 瞳介 助教 実験心理学 認知科学 感性情報学 生体信号計測 人間工学 ヒトの情報処理メカニズムの解明を目指す ヒトの知的活動を情報処理の観点から研究する。例としてヒトの感情知覚/認知メカニズムについて、心理物理的手法を用いた実験研究を行う。	09 人工生命研究室 大海 悠太 准教授 人工知能 人工生命 ロボティクス IoT 認知科学 身体性 自発的に動けるロボットとは何か 身体を持った人工生命を構築することを目指し、生物の自発性とそれをロボットで実現する方法を探る。
09 人工生命研究室 大海 悠太 准教授 物理現象の背後に潜む数学的構造 量子可積分系 ペア戻算 相関関数 ソリトン 量子古典対応 非平衡ダイナミクス	10 レーザ応用研究室 陳 軍 教授 レーザ応用 画像処理 高精度光画像計測 動画プログラマー 光と画像の新しい応用を探求する 情報化社会におけるレーザの新しい応用を探る。高精度光計測法や次世代光記録技術の開発を通じて豊かな未来社会への貢献を目指す。	11 宇宙工学研究室 上野 一磨 准教授 宇宙電気推進ロケット 宇宙先端推進 宇宙環境利用 宇宙デブリ除去 プラズマ応用 先端宇宙推進技術を基礎に宇宙工学の革新を目指す 社会における宇宙利用のニーズに応じた次世代宇宙電気推進システムの実現を目指すと共に、得られた知見をベースとした宇宙環境模擬技術により革新的な各種宇宙技術の実現を目指す。	12 無機材料研究室 松本 里香 教授 電気電子材料 炭素材料 インゴル グラフェン 二次元物質 炭素材料や二次元物質の可能性を広げる 黒鉛などの炭素材料、グラフェンなど二次元物質にインゴル反応を施し、電気特性を向上させ、電気電子材料としての応用を目指している。	13 建築構造Ⅰ研究室 山田 勝実 教授 有機半導体 導電性ポリマー 金属ナノ構造 3Dプリント エレクトロクロミズム 材料加工で新しい機能を作り出す 3Dプリントやさらに進んだナノテクにより導電性ポリマー、有機半導体を微細に立体で加工・配置し、まったく新しい光電子機能を引き出す。	14 建築構造Ⅱ研究室 松井 正宏 教授 耐風構造 風工学 地震工学 竜巻 台風・突風 自然災害 自然の力をとらえ建築物を安全に 台風や竜巻、地震等の自然災害に対して建築物はどのように安全性を確保すべきか。安全、安心な建築物を追求する。	15 建築構造Ⅲ研究室 吉田 昭仁 教授 強風災害 応答モニタリング 耐風設計 風洞実験・実測 構造ヘルスモニタリング 構造物の揺れを捉える 超高層建築物など「風」が重要な構造物を対象に、風洞実験や実測などをもとに、耐風設計や強風防災について研究する。	16 建築意匠Ⅰ研究室 南部 典稔 教授 移動現象 界面現象 キネティクス アナロジー 溶液体性 電解質溶液 物理と化学の狭間を探究する 類似現象や相違点を踏まえて、電荷、物質、熱などの移動現象を探究する。実験的アプローチに加え、複雑な現象をモデル化して理論的に取り扱い、解析を行う。	17 建築意匠Ⅱ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。
17 建築意匠Ⅲ研究室 比江島 俊浩 教授 人工生体モデル 数理シミュレーション 画像情報科学 デジタルアート ジネネラティビティ 人工知能(AI)アルゴリズムを実装したジネラティビティを使って革新的「ものづくり」の創出とDXへの応用を目指します。	18 建築意匠Ⅳ研究室 常安 翔太 助教 機能性ディスプレイ 3D光素 照明デザイン 印刷ディバイス スマートウッド 電子ペーパー 映像から得られた情報を処理する カメラから得られるデジタル情報を処理して、認識または認証を行なシステムを構築し、そのシステムを人間の日常生活に応用する。	19 建築意匠Ⅴ研究室 崔 通 教授 集積回路 パワーエレクトロニクス 電力変換 高電力密度化 太陽光発電 電力供給で社会をささえる 社会のインフラとして欠かせない電力をいかに効率よく供給できるか、IoTなどの小出力の電子回路からパワーエレクトロニクスまで幅広く研究する。	20 建築意匠Ⅵ研究室 八尾 康 幸 教授 建築計画 住宅計画 建築設計 建築デザイン まちづくり 都市計画 環境の一部として建築を構想する 建築を環境の一部として捉え、建築デザインやまちづくりの研究と実践、海外の都市・住宅問題の改善に関する研究を行っている。	21 建築意匠Ⅶ研究室 八尾 康 幸 教授 建築計画 住宅計画 建築設計 建築デザイン まちづくり 都市計画 環境の一部として建築を構想する 建築を環境の一部として捉え、建築デザインやまちづくりの研究と実践、海外の都市・住宅問題の改善に関する研究を行っている。	22 建築意匠Ⅷ研究室 八尾 康 幸 教授 建築計画 住宅計画 建築設計 建築デザイン まちづくり 都市計画 環境の一部として建築を構想する 建築を環境の一部として捉え、建築デザインやまちづくりの研究と実践、海外の都市・住宅問題の改善に関する研究を行っている。	23 建築意匠Ⅸ研究室 八尾 康 幸 教授 建築計画 住宅計画 建築設計 建築デザイン まちづくり 都市計画 環境の一部として建築を構想する 建築を環境の一部として捉え、建築デザインやまちづくりの研究と実践、海外の都市・住宅問題の改善に関する研究を行っている。	24 建築意匠Ⅹ研究室 八尾 康 幸 教授 建築計画 住宅計画 建築設計 建築デザイン まちづくり 都市計画 環境の一部として建築を構想する 建築を環境の一部として捉え、建築デザインやまちづくりの研究と実践、海外の都市・住宅問題の改善に関する研究を行っている。	25 建築意匠Ⅺ研究室 八尾 康 幸 教授 建築計画 住宅計画 建築設計 建築デザイン まちづくり 都市計画 環境の一部として建築を構想する 建築を環境の一部として捉え、建築デザインやまちづくりの研究と実践、海外の都市・住宅問題の改善に関する研究を行っている。
26 建築意匠Ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	27 建築意匠Ⅼ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	28 建築意匠Ⅽ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	29 建築意匠Ⅾ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	30 建築意匠Ⅿ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	31 建築意匠ⅰ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	32 建築意匠ⅱ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	33 建築意匠ⅲ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	34 建築意匠ⅳ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。
35 建築意匠ⅴ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	36 建築意匠ⅶ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	37 建築意匠ⅷ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	38 建築意匠ⅸ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	39 建築意匠ⅹ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	40 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	41 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	42 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	43 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。
44 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	45 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	46 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	47 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	48 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や都市の豊かさを考える 私たちの暮らしとそれを支える都市・建築の空間は、いかに豊かな関係性を構築できるでしょうか。建築デザインの研究・実践を通して共に考えましょう。	49 建築意匠ⅻ研究室 八尾 康 幸 教授 建築意匠 建築設計 都市・建築イメージ 都市メディア研究 歴史都市の継承デザイン 建築意匠から社会や			

研究環境

RESEARCH CENTER

世界的にも貴重な研究センターを設置し、充実した設備のもと、最先端の研究に挑んでいます。

風工学研究センター



風工学研究センターでは都市、建築物、人間と風のかかわりについて研究を行っています。用途別の大小7個の風洞実験施設をはじめとして、竜巻状気流シミュレータ、外装材耐風圧性能試験機、発汗サーマルマネキンなどの風に関する実験施設・装置を有する国際的な風工学の研究拠点です。強風を対象とした研究領域では台風や竜巻など激甚化する強風災害の低減、風が支配的となる超高層建築物や大規模ドームなどの合理的な耐風設計手法の構築を行っています。また、中・弱風を対象とした研究領域では、健康・快適な室内環境を省エネルギーで実現するための自然換気

や室内気流に関する研究を行っています。また、気候変動対策・汚染物質拡散・ヒートアイランド防止に関する都市レベルの研究などにも取り組んでいます。これらの研究成果は風工学データベースとしてWEBで発信しており、年間10,000件を超えて世界中の研究者や実務者に利用されています。なお、風工学研究センターは設立した2000年から現在まで継続して、風工学研究の推進拠点として文科省から認定されており、国内外の多くの研究機関と共同研究を行っています。

色の国際科学芸術研究センター

東京工芸大学は、色に関するテクノロジーからアートの領域までを学際的に幅広く教育・研究する「色の国際科学芸術研究拠点」を目指しており、その中核となる「色の国際科学芸術研究センター」は、様々な光源の下で、色と人間の心理や感情、忠実かつ高精度な色再現を可能とする技術、文化材・芸術作品のデジタルアーカイブ保存技術等を研究する実験室を有するとともに、色の科学の基礎や最先端の研究成果を、写真、映像、拡張現実、プロジェクトマッピング、コンピュータグラフィックス、マンガ、ゲーム等のメディアアートの手段を用いてわかりやすく楽しく伝える新たな体験学習型教育システムを構築し、これを子供や中高校生等に一般公開するギャラリー（カラボギャラリー（col.lab Gallery））を運営しています。このような教育・研究センターは国内の他大学には存在せず、工学部と芸術学部を有するという本学の特色を活かした国内唯一のセンターです。



2017年設立 カラボギャラリー（col.lab Gallery）

大学院

GRADUATE SCHOOL

大きな可能性を秘めた優秀な人材を輩出するために大学院（工学研究科工学専攻）を設置。工学に関する学術の理論と応用を研究し、文化の進展に寄与することを目的としています。

工学研究科工学専攻

多様な人材が集まり最先端の研究活動に取り組んでいます。

東京工芸大学大学院工学研究科工学専攻は、可能性を秘めた優秀な人材がその能力をさらに発展させることを目指し、博士前期・後期課程を設置しています。これらの専門分野で学究に励む大学院生は、現在50名以上にのぼり、社会人や海外からの留学生も含まれています。当

研究科は、教育・研究水準の高い指導教員による最先端の研究活動に不可欠な最新の装置と設備を備えています。この恵まれた探究フィールドを活用し、幅広い視野と豊かな独創性を兼備した高度な技術者や研究者へと成長できる課程です。



専門分野 機械工学

研究領域
機械工学／ロボット工学／計測制御工学／コンピュータ応用／人工知能

機械工学専門分野の教育部では、機械工学、ロボット工学、計測制御工学、情報工学（コンピュータ応用／人工知能）とそれらに深く関連する分野に関する体系的な知識の修得を目指します。また、人工物による機能発現は生活のあらゆる場面に及ぶことから、機械工学専門分野では、ほぼ全ての学術分野とそれに伴う多様な関連学際分野に

ついて学びます。その知識を使い、環境性、経済性、資源的制約など、さまざまな条件を考慮し、社会的、技術的課題に対する機械技術を用いた具体的な解決策を提示するための方策を学びます。研究部では、機械工学、ロボット工学、計測制御工学、情報工学（コンピュータ応用／人工知能）の各領域を中心に所属研究室で研究を行います。

専門分野 電気電子工学

研究領域
電気工学／電子工学／情報通信／先端材料／画像工学／光応用

現代社会のあらゆる分野において電気電子工学技術が利用されています。電気電子工学は、人工知能や高度な情報通信システムを活用する情報社会のみならず、地球・自然環境との調和も含めた幅広い分野にまたがる、基盤学問・総合学問といつても過言ではありません。電気電子工学分野の教育部では、電気機器・電力システムおよび制御技術に関わる電気工学、半導体LSI（大規模集積回路）、レーザ、ディスプレイなどの先端デバイスや機器に

関わる電子工学、通信システムやコンピュータなどに関わる情報通信工学（ICT）、これらの技術を支える電気電子材料工学など、幅広い学問分野を網羅的かつ専門的に深く学ぶことができます。電気電子工学分野の研究部では、電気、電子、情報、通信、光、画像、制御、環境、生体・医療、材料・物性の各分野で活躍する教員の直接指導のもとで、学内の最先端研究施設・設備を積極的に活用し、先進的な研究に取り組むことができます。

専門分野 情報工学

研究領域
画像工学／情報メディア／データサイエンス／人工知能／コンピュータ工学／コンピュータ応用

情報工学専門分野の教育部では、情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術について体系的な知識を修得することや、情報と対象、情報と情報の関連を調べることにより、情報がもたらす意味や秩序を探求し、情報の価値、特に社会的価値を創造することを学びます。また、情報学では諸科学との境界において

新たな応用分野を恒常的に生み出していることを理解し、メタサイエンスとしての情報学について学びます。研究部では、情報メディア、画像工学、人工知能、データサイエンス、コンピュータ工学、コンピュータ応用の各領域を中心に所属研究室で研究を行います。

専門分野 化学・材料工学

研究領域
先端材料／応用化学

化学は物質を原子・分子レベルでとらえ、その構造、性質および反応を研究する学問です。化学・材料工学専門分野の教育部では、応用化学と先端材料の2つの研究領域の基盤となる無機化学、分析化学、材料化学、化学工学、材料化学、有機化学、物理化学、量子化学について、学部の教育課程を前提に、より高度な専門知識を身につけて、

体系的な理解が深まるよう学修します。研究部では、ディプロマ・ポリシーに掲げた到達目標のうち、所属研究室での研究成果を修士論文もしくは博士論文としてまとめるために必要な素養を学ぶ研究科目と、研究活動に関わりの深い研究領域の専門知識を分野横断的に学べる領域科目で構成されています。

専門分野 建築学・風工学

研究領域
建築設計／建築構造／建築環境

建築学・風工学専門分野の教育部では、建築学を建築デザイン、建築構造および建築環境といった広い側面から人々の生活に欠かせない住まいと都市環境の設計や計画、維持管理、および自然環境との調和などをさまざまな方面から考え、それらと関連する科学技術を学びます。なお、

風工学では、強風による災害低減を図るための耐風工学および建物内外の風環境に関する環境工学の専門知識を基礎から応用まで広く学修することができる特色のある専攻です。研究部では、建築デザイン、建築構造と建築環境の各研究領域を中心に所属研究室で研究を行います。

1年次からはじまるキャリア教育

採用の早期化に対応したキャリア教育と就職支援を実施して全学生がより良い進路選択ができる体制を整えています。

1年次～2年次では、技術者（エンジニア）に必要な「心」と「力」を身につけるための専門基盤科目を開講しています。特に理工系学生が苦手とする文章力やプレゼンテーション力の強化に力を入れています。3年次～4年次では、万全の準備をした後に就職活動を始めています。工学部学内企業説明会では、毎年約400社以上の企業をお招きし、学生との出会いの場を創出しています。



3年次後期からは所属研究室の教員も就職活動を支援！

本学では、卒業研究を実施する研究室への配属を、4年次前期からではなく3年次後期からとし、学生が所属した研究室の教員が、卒業研究の指導だけでなく、就職活動などの支援も行う体制としています。

1年次

2年次

3年次

4年次

社会人基礎力を学ぶ

前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャリア教育に関する専門基盤科目 全学系・コースで共通してキャリア教育に関する専門基盤科目を履修することができます。																				
キャリアI	キャリアII	キャリアIII	企業研究I	企業研究II	プロジェクトI	プロジェクトII	インターンシップ													
キャリアI	自己分析を通して自身の興味、適性、強みなどを把握。それらを活かせる業界や業種、職種を理解し、将来に向けた行動計画や自己実現を叶えるキャリアプランを考えます。	キャリアII	プロジェクトI・II	民間企業やNPO法人などのプロジェクトに参加。習得した知識や技術を活用する経験ができ、また他者と協働して企画を運営することで自主性や創造性も養われます。	キャリアIII	企業研究I・II	民間企業などでの実習を通して、工学技術のさまざまな側面を体験。自身の専門分野が産業界でどのように活用されているのかを知り、キャリアプランの設計に役立てます。	企業研究II	インターンシップ	民間企業などでの実習を通して、工学技術のさまざまな側面を体験。自身の専門分野が産業界でどのように活用されているのかを知り、キャリアプランの設計に役立てます。	プロジェクトI	プロジェクトII	インターンシップ	インターンシップ勉強会	インターンシップ実習	SPI 対策講座				
1年次と3年次の4月にGPS-Academicを受検して、社会で必要なチカラが伸びているかをチェック！																				

就職活動の準備をする

前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャリア教育に関する専門基盤科目																				
キャリアI	キャリアII	キャリアIII	企業研究I	企業研究II	プロジェクトI	プロジェクトII	インターンシップ													
キャリアI	自己分析を通して自身の興味、適性、強みなどを把握。それらを活かせる業界や業種、職種を理解し、将来に向けた行動計画や自己実現を叶えるキャリアプランを考えます。	キャリアII	プロジェクトI・II	民間企業やNPO法人などのプロジェクトに参加。習得した知識や技術を活用する経験ができ、また他者と協働して企画を運営することで自主性や創造性も養われます。	キャリアIII	企業研究I・II	民間企業などでの実習を通して、工学技術のさまざまな側面を体験。自身の専門分野が産業界でどのように活用されているのかを知り、キャリアプランの設計に役立てます。	企業研究II	インターンシップ	民間企業などでの実習を通して、工学技術のさまざまな側面を体験。自身の専門分野が産業界でどのように活用されているのかを知り、キャリアプランの設計に役立てます。	プロジェクトI	プロジェクトII	インターンシップ	インターンシップ勉強会	インターンシップ実習	SPI 対策講座				
1年次と3年次の4月にGPS-Academicを受検して、社会で必要なチカラが伸びているかをチェック！																				

就職活動

前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャリア教育に関する専門基盤科目																				
エントリーシート対策講座	業界研究講座／面接対策講座／履歴書の書き方講座											適性試験模試	適性試験模試	模擬面接会	グループディスカッション対策講座					
												企業研究セミナー	企業研究セミナー	企業説明会	企業説明会					
就活解禁																				
就職活動期間																				
企業研究セミナー																				

就職支援イベント



各種就職支援企画

内定者によるトークライブ

就職活動が始まる前からさまざまな支援企画を開催

履歴書の書き方講座、インターンシップ勉強会、グループディスカッション、面接対策講座など、多彩な支援企画を開催。スムーズな就職活動をサポートしています。



個別指導

学生一人ひとりに合わせた就職サポートを実現

就職支援課では、キャリアカウンセラーが、履歴書やエントリーシート添削、面接練習など、個別指導を行っています。本学の学生であれば誰でも利用できます。



コウゲイドリル

eラーニング学習システム「コウゲイドリル」で就職活動をしっかりとサポート

本学では、SPI試験の対策としてeラーニング学習システムを導入しています。SPI試験の多くはテ스트センターによる実験的問題で構成されています。問題を解くことで実力が身につきます。



学内企業説明会

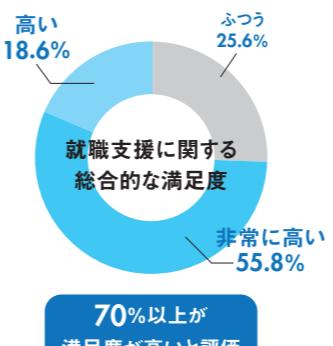
多くの学生が参加企業から内定を獲得

毎年約400社以上の企業の人事担当者などを招いて学内企業説明会を開催しています。例年内定者の3割近くが、この説明会の参加企業から内定を獲得しています。

就職活動で悩んだら、焦らず、まずは就職支援課に相談を。就職活動の心強いパートナーとして、対面でも電話でも、社会経験豊富なスタッフが親身に対応します。

就職支援課

就職満足度調査



利用者の声

就職が難しい企業を希望していましたが、丁寧なアドバイスや面接練習をしていただいたおかげで、第一志望企業の内定を獲得できました！

自分ひとりの視点では気づくことのできなかった部分を、専門家の視点で提案、指摘していただき、就職活動に大いに活かすことができました。

就職支援課はなるべく早い段階から行って、今後の予定を立てるのがオススメです。

企業説明会の案内から面接練習まで、具体的な支援だけなく精神的な支えにもなりました。

(株)大林デザインパートナーズ 内定

アイデアが立体的になる楽しさを体感。 課題をやり遂げた達成感は、将来を決める指針に

幼少期から工作や図形を描くことが好きだったので、建築コースの作図や模型を作る授業はとても楽しいです。2年次に授業で設計や製図をデジタルで行うCADに初めて触れ、当初は複雑な操作に苦労しましたが、先生に名前を覚えてもらうくらいに質問を繰り返すことで習得。CAD以外にも3次元で設計に便利なBIMの操作も身につけ、設計製図の課題でも積極的に活用しています。平面で考えていた建物のアイデアが立体的になる楽しさを体感し、課題をやり遂げた際には大きな達成感を味わうことができます。

卒業後も達成感のある仕事がしたいと考え、就職支援課の方に紹介していただいたのが、(株)大林デザインパートナーズ。まさに私が求めていた職場でした。入社後も大学時代と同じように積極的に行動し、さまざまな職種の方々と交流の輪を広げ、新しい知識を吸収していきたいです。そして、周りから信頼される人間になりたいと思います。

内定までの軌跡

3年次8月	3年次12月	3年次2月	3年次3月①	3年次3月②
初めてのインターンシップ 企業説明会へ参加。建築分野だけではなく、さまざまな分野の企業の話を聞くことができ新鮮でした。	企業説明会へ参加。建築分野だけではなく、さまざまな分野の企業の話を聞くことができ新鮮でした。	初めての面接。就職支援課の面接対策講座を思い出し、緊張せずにリラックスして受け答えできました。	ポートフォリオの制作に力を入れ、面接やインターネットにも参加しました。	第一志望企業の二次面接がありました。質疑応答にもリラックスして答えることを意識しました。

就活中のマストアイテム
ハンカチ

就活中は暑い時期だったので、面接の緊張から汗をかくことが多く、汗を拭くためのハンカチは手放せないマストアイテムでした。

内定までの軌跡

1年次	3年次8月	3年次3月	4年次4月	4年次5月
必修科目の「キャリアI・II」で、就職活動を進める上で必要なスキルなどを学びました。	仕事の体験会やインターンシップに参加して、さまざまな企業への理解を深めました。	面接とSPIテスト対策を徹底的に強化。大学で配布されたドリルをコツコツ進みました。	就職支援課の協力を得て、面接対策。自己PRポイントをまとめ、一次選考を受けました。	最終面接を受け、無事に内々定。不安もありましたが、内々定をもらえて本当に安心しました。

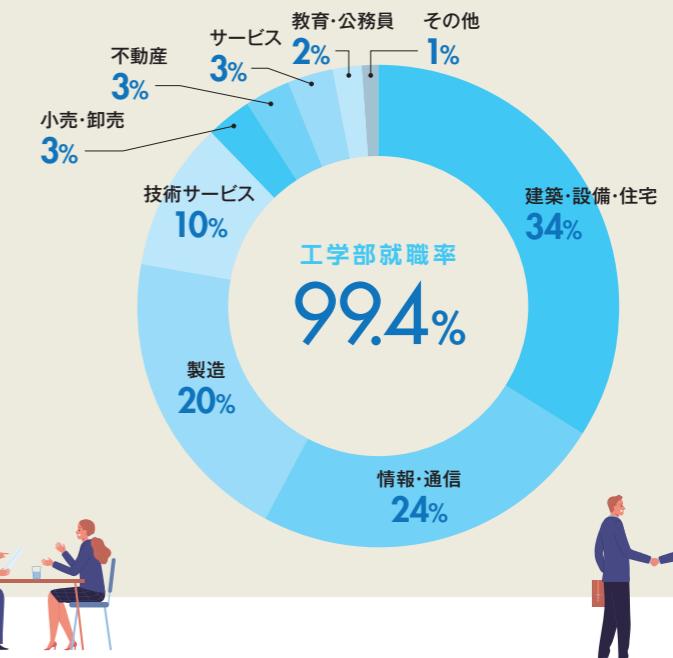
就職先・進学先

工学部 就職先業種内訳

(2024年3月卒)

4年間一貫したキャリア教育と就職支援を実施。
全学生がより良い進路選択ができる体制を整えています。

(注) 就職率=「就職希望者」に占める就職者の割合[文部科学省による定義]
2024年5月1日現在



主な就職先・進学先

2024年3月卒業生・一部抜粋

製造業

大成有楽不動産(株)
大東建託(株)
大和ハウス工業(株)
東急建設(株)
エリエールペーパー(株)
大久保歯車工業(株)
(株)キッツ
(株)鷺宮製作所
芝浦機械(株)
住友電装(株)
(株)ソノコム
東プレ(株)
(株)ナカヨ
日産自動車(株)
日産車体(株)
日本ピーマック(株)
ニデックパワートレインシステムズ(株)
(株)放電精密加工研究所
三菱電機(株)
ミマキエンジニアリング(株)
(株)ヨコオ
リンテック(株)

建築(設計・測量・申請)

(株)池下設計
(株)スペース

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)

設備(電気・建築・プラント)

川本工業(株)

三建設機械(株)

三晃空調(株)

ダイanson(株)

高砂熱学工業(株)

東洋熱工業(株)

IT・ゲーム・ネットワーク

(株)アイネット
(株)アネスティック
(株)アルゴグラフィックス
(株)アルファシステムズ
(株)アローズ・システムズ
(株)インターネットイニシアティブ
キューブシステム(株)
(株)クエスト
(株)システム
東計電算(株)
(株)東邦システムサイエンス
(株)ドコモ・データコム
日立情報通信エンジニアリング(株)
(株)日立ソリューションズ・クリエイト

富士ソフト(株)

(株)USEN-NEXT HOLDINGS

広告・出版・印刷・紙工

凸版印刷(株)

(株)東邦プラン

食品・医療・化粧品

敷島製パン(株)

フジパングループ本社(株)

プリマハム(株)

山崎製パン(株)

商社・卸売・小売・飲食・アミューズメント

青山商事(株)

(株)ゼンショーホールディングス

道路・鉄道・運送・物流・インフラ

東亜道路工業(株)

東京電力ホールディングス(株)

西日本旅客鉄道(株)

前田道路(株)

官公庁

小田原市立酒匂中学校

南陽市役所(山形県)

防衛省(自衛隊)

その他

JAさがみ

セコム(株)

東京水道(株)

(株)臨海

進学

芝浦工業大学大学院

多摩美術大学大学院

東京工芸大学大学院

東京医科歯科大学大学院

法政大学大学院

2024年3月卒 大学院進学率 10.0%

2023年3月卒 大学院進学率 11.9%

KEYWARE SOLUTIONS キーウェアソリューションズ株式会社

杉山 みづほさん
コンピュータ応用学科(現・情報学系 情報コース)2017年卒業
大学院工学研究科博士前期課程電子情報工学専攻
2019年修了

疑問や課題解決のために能動的に行動
社会インフラを支えるシステムに携わる今へ

高校は普通科だったため、入学後の授業に不安もありました。それでも情報学系やプログラミングの授業では、学びをその場で実践する、または疑問点があれば先生に相談することを繰り返すうちに、いつの間にか知識や技術が身についていたと感じています。所属した研究室では、画像認識をテーマに研究に取り組み、卒業時には厚木市の「松川サク工業賞」を受賞。専門的な学びを培えたことを実感しました。授業や研究を通じて、コミュニケーション能力も育まれ、疑問や課題の解決のために能動的に行動した経験は、今の仕事に生きています。

現在私は運輸から流通、金融や医療、または航空分野など多様な領域の情報システムを構築するキーウェアソリューションズ(株)のIoTシステム事業部に所属しています。新幹線の安全な運行に欠かせない車両や指令設備の通信システムの開発に携わり、プロジェクトリーダーとしてマネジメントにも心を配っています。今後も能動的に行動し、トライ＆エラーを繰り返しながら、社会インフラに貢献できるよう力を発揮していきたいです。



Nikon 株式会社ニコン

万 東晟さん
電子機械学科(現・工学系 機械コース)
2021年卒業
電子情報工学専攻 2023年修了

機械から物理へ分野を横断
より美しく一瞬をとらえる光学レンズの設計へ

出身は、中国の上海。高校卒業後に現地の貿易会社に就職し、海外志向が高まることで工芸大への留学を決めました。入学後は、電子回路や機械に関する知識を深め、大学院へ。所属研究室にて、セシウム原子のエネルギー構造解析などの研究に取り組む日々を過ごす中で、上海の祖父母が永眠。突然のことでの落胆と悔しさに心を痛めましたが、それでも諦めず、技術を磨き、光学機器メーカーのニコンへ就職しました。現在は、ミラーレスカメラの交換レンズの光学設計に取り組んでいます。レンズの材料の選定や、曲率の設定など緻密な工程の連続であり、常に新しい技術や知識を吸収し続ける必要がありますが、機械から物理の分野を横断しながらチャレンジし続けた学生時代のマインドが今を支えています。写真には、数値や性能だけでは表せない美しさがあります。素敵で美しい一瞬をより美しく残せるようなレンズの開発を目指しています。

卒業生インタビュー

INTERVIEW with GRADUATES

ISB CORPORATION 株式会社アイ・エス・ピー

川添 健司さん
コンピュータ応用学科(現・工学系 電気電子コース)
2020年卒業

“ないモノは、自分の手で作る” 挑戦心は多様な領域のシステムを開発する原動力に

大学卒業後は、自動車の先端運転支援システムの開発や、AI・データサイエンスのソリューションサービスなど幅広い領域の事業を展開する(株)アイ・エス・ピーに入社。これまでに医療現場で使用されるエコー(超音波)検査の制御システムの開発に携わり、現在はメーカーの基幹システムの刷新に取り組んでいます。多様な分野のシステム開発を横断できるだけでなく、社内プレゼンによって新事業などの提案もでき、やりがいがあります。

仕事において多くの挑戦ができるのも、大学時代にその基盤を構築できたからだと感じています。高校の授業でプログラミングに触れたことで工芸大に進み、電気系の学びを深めたいと行谷先生の研究室へ。照明の光に通信機能をもたせる可視光通信の開発に取り組み、ソフト面とともに、電子回路の配線や構造などハード面の理解を深めることができました。その中で、“ないモノは、自分の手で作る”というマインドが育まれ、自分のアイデアをゼロから構築する力を身につけられたと実感しています。工芸大での4年間が、今の原動力になっています。

KENGO KUMA & ASSOCIATES 隅研吾建築都市設計事務所

野島 太一さん
建築学科(現・建築学系 建築コース)2021年卒業
大学院工学研究科 博士前期課程
建築学・風工学専攻 2024年修了

街の絵を描き続け、建築分野へ
架け橋となった先生との出会いと建築意匠の学び

子どもの頃から、カレンダーの裏面に街の絵を描いていました。つなぎ合わせると18mになるほど描き続けるうちに、街をカタチづくる家やマンションなどの建築に興味が湧き、高校は建築学科へ。建築士を目指して、工芸大へ進みました。建築コースで学びを深める中で、何よりも田村裕希先生と出会えたことが今につながっていると感じています。先生の建築設計計画II研究室では、建築理論に裏打ちされた芸術性や自由性を体感。団地内の屋外スペースに新たな道を通り、地域コミュニティ活性化を目指した「緑が丘団地プロジェクト」に参加できたことも糧になっています。そして、授業で製図に取り組んだ経験も。

私は今、隈研吾建築都市設計事務所で3つのプロジェクトに携わっています。建築の分野を志した中学生の頃、隈さんが手がけた「浅草文化観光センター」が完成し、木の材質や色合いが活かされた意匠は脳裏に焼き付いています。入社してまだ間もないため、現在携わる建築物が完成した時に初めて建築士として胸を張れると思います。

ATSUGI CAMPUS LIFE



100円(税込)
朝食あります!
・おにぎり2個
・小豚汁 セット



中央図書館 3F・アクティブラーニングルーム



8号館 2F・購買



8号館 2F・購買



8号館 2F・カフェスペース



10号館 1F・ラーニングコモンズ



グラウンド脇・バーベキュー場



12号館 2F・カラボギャラリー

色の国際科学 芸術研究センター col.lab

工学部・芸術学部教員の共同研究
によって、「色」の科学的、芸術的な
面白さや奥深さを体験できるカラボ
ギャラリー (col.lab Gallery) を設置。
新たな研究につなげていきます。

年間イベントスケジュール

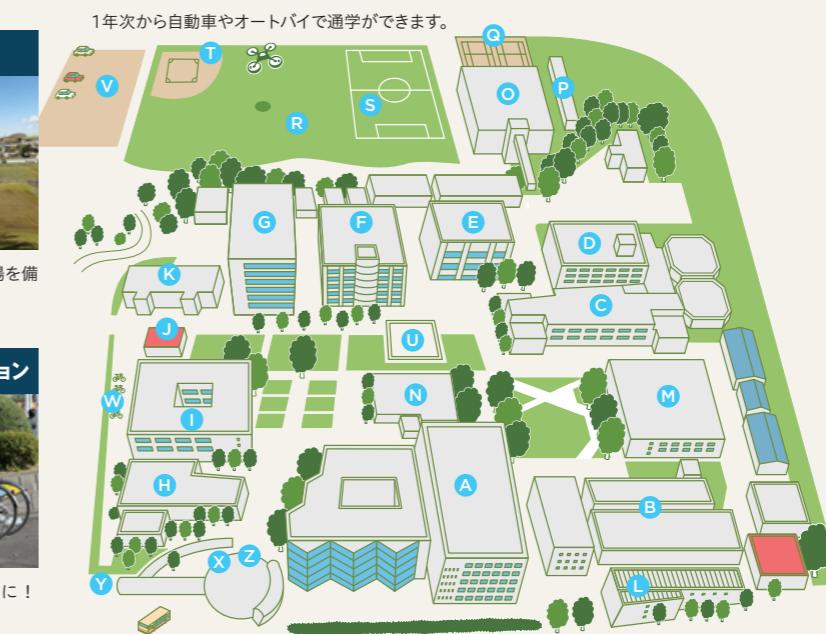
4 Apr. / 入学式 入学式、学生定期健康診断 新入生歓迎会、学友会紹介 ガイダンス、新入生オリエンテーション 前期授業開始、履修登録期間	5 May / 学友会総会	6 Jun. / 工芸祭 / 	7 Jul. / 創工祭 / 	8 Aug. / 夏季休暇 夏休み 親子でわくわくKOUGEIランド	9 Sept. / 後期授業開始 仲間と一緒に成長を実感!	10 Oct. / 学生連絡評議会 工芸祭 (厚木キャンパス学園祭)	11 Nov. / Sports Festival / 	12 Dec. / 冬季休暇	1 Jan. / 	2 Feb. / 工学部・工学研究科 卒業研究・修士論文 発表会	3 Mar. / 学位授与式 ごしんばく会 (入学予定者交流会)
---	---------------	--------------------	--------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	--	---------------------------------	----------------	--------------	--	--



1年次から自動車やオートバイで通学ができます。



シェアサイクルで移動が便利に!
(有料。学生クーポンあり)



A 本館 D 7号館 G 10号館 J 13号館 M 中央図書館 P アーチェリー場 S サッカー場 V 駐車場 Y シェアサイクルステーション
 B 5号館 E 8号館 H 11号館 K 15号館 N 学生会館 Q テニスコート T 野球場 W 駐輪場 Z 正門
 C 6号館 F 9号館 I 12号館 L 風工学研究センター O 体育館 R グラウンド U 恵いの広場 X バス停



メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルームまで揃っています。



汗を流して心身ともにリフレッシュ!

CAMPUS LIFE クラブ&サークル

CLUB & CIRCLE

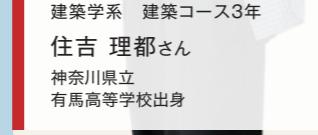
学生たちが成長する場は、教室や実験室にとどまりません。クラブ&サークル活動も、自分をステップアップさせるための貴重な機会。学年や学部・学系・コースの垣根を越えたつながりも将来の財産になるはずです。

構成員が5名以上等の条件を満たせば、同好会を新たに設立することができます。また、同好会として活動を継続するとクラブに昇格できます。



学園祭のステージを目指して、一緒に成長を！

小学生の時からダンスを始め、大学でも続けたいと入部しました。メインイベントは、学園祭。そのステージに向けて、振付やダンスの練習を行っています。初心者でも、先輩たちが基礎から教えてくれます。みんなでダンスを楽しみながら、一緒に成長しましょう。



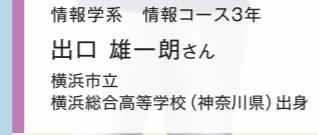
活動キャンパス 両キャンパス
活動日時 火・水(厚木) / 火・金(中野)
所属人数 工学部13名 / 芸術学部36名



バドミントン部

コミュニケーションを大切にしながら、日々練習！

中学生の時からバドミントンを続けていたため、大学でも体を動かしたいと思い入部しました。バドミントンは個人スポーツですが、部ではメンバー内のコミュニケーションを大切にしています。技術面や体力面など個人の課題に取り組みながら、仲間たちと練習を楽しんでいます。



活動キャンパス 厚木キャンパス
活動日時 毎週火・水・金曜日
所属人数 工学部約40名

軽音学部

新入生歓迎会や工芸祭などのイベントを含め、毎月1回は学生会館や教室などでライブを実施。平日の放課後、部室棟にあるスタジオなどで練習し、楽器の演奏技術やアレンジ力を磨いています。

活動キャンパス 両キャンパス
活動日時 不定期(ライブや個人練習)
所属人数 工学部55名 / 芸術学部62名



学園祭実行委員会

厚木キャンパスの学園祭の準備・運営をする委員会です。涉外活動や広報活動、装飾物の作成などをやっています！ほかにもスポーツ大会などのレクリエーションも行っています！



吹奏楽団

学園祭や定期演奏会、卒業式等式典で演奏を行うだけでなく、アンサンブルコンテストへもチャレンジしています。楽器の初心者も楽しく練習を行っていて毎月末は卒業生も含めた合奏練習も行って交流しています。

活動キャンパス 両キャンパス
活動日時 火・木 18:30~20:00 / 土 13:00~19:00
所属人数 工学部8名 / 芸術学部12名



ドローン・サイエンス研究会

国家資格であるドローン免許に準じた講習が受けられる研究会として2023年4月に発足。体育館で実技訓練を行うとともに、筆記試験の対策も行っています。さらに、本来の目的、フォトグラメトリ(多視点からの3D構築)の撮影、3D作成を行っています。



剣道部

大学生になると課題やレポートで日々忙しいですが、稽古では体操・素振りから始め、基本技から応用技へ、そして地稽古へと、短い時間の中で集中して、個々が工夫しながら稽古に取り組んでいます。



プログラミング研究会

プログラミング、イラスト、デジタル音楽制作、シナリオ作成、3DCG、声優、映像・音響演出の7つの部門からチームを構成し、ゲーム・アニメ・MV作品を作成。工芸祭やコミックマーケットなどに出演して成果を発表します。



硬式野球部

1982年に発足し、神奈川大学野球連盟に所属し、練習は平日の授業後18時~20時30分、土日は試合を中心に行ってています。月曜日はトレーニング日、火曜日は自主練習です。1部昇格を目指すと同時に、常にチャレンジ精神と真面目さ、努力を忘れずに精進していきます。

LOCATION MAP

都心から近くアクセスの良い厚木。
大学から少し足を伸ばせば、
雄大な自然も楽しめます。



※厚木キャンパスからの眺め

工学部のある厚木キャンパス周辺をご紹介！
休日や授業終わりなど、つい立ち寄ってみたくなる
魅力的なお店もたくさん！



1 本厚木駅周辺

小田急線新宿駅から約50分の好立地！駅ビルの「本厚木ミロード」では、グルメやショッピングなどが楽しめます！



2 厚木中央公園

本厚木駅から徒歩7分、緑に囲まれてリフレッシュしましょう！

ACCESS 本厚木駅より徒歩7分 公園の地下に市営駐車場あり（有料）



3 アツギ・トレリス

本厚木駅からバスで約15分♪トレリスへ行けば何でも揃います！

ACCESS 本厚木駅よりバス15分 バス停「アツリソ前」正面



4 ファクトリーショップ洋菓子eMitas

素材にこだわったスイーツを販売。勉強や研究の休憩にいかがでしょうか♪

ACCESS 本厚木駅よりバス17分 バス停「緑ヶ丘入口」正面



5 ブーランジェリーペールラシェーズ

ハード系パンで有名、午後には売り切れてしまう大人気店！

ACCESS 本厚木駅よりバス12分 バス停「小金」から徒歩2分



6 久遠チョコレート厚木店

世界中から厳選したピュアチョコレートを素材に、余計な油分は一切加えず一つひとつ手作業で丁寧に仕上げています。

ACCESS 本厚木駅よりバス6分 バス停「合同庁舎前」徒歩1分



7 しあわせのお菓子TreeOven

バラエティ豊かなスイーツが揃う本厚木駅近くの洋菓子店。一番人気は「ツリーオーブンシュー」。

ACCESS 本厚木駅より徒歩2分

少し足を伸ばせばまだまだある！ 学生おすすめのSPOT



借りて住みたいまちランキング（首都圏版）4年連続NO.1の本厚木。

実験・実習やレポート作成で煮詰まつたとき、学生たちが少し足を伸ばして「ホッ」と一息つけるスポットがたくさんあります。大型商業施設から温泉郷まで、都心型キャンパスとは一味違う、学生にやさしい環境です。



宮ヶ瀬ダム



ViNAWALK (海老名)



ららぼーと海老名

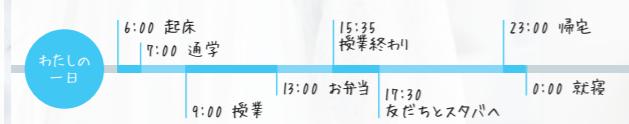


あつぎ温泉郷

Daily Schedule



情報学系 情報コース 3年
黒田 彩夏さん
富士見丘高等学校
(東京都)出身



勉強も遊びも全力で楽しむ!
休日とのメリハリを意識した生活スタイル

キャンパスが広く自然豊かなため、学業に集中しやすい環境です。そこで、勉強を計画的に進め、授業がある日の放課後にアルバイトや遊びの予定を入れることで、休みの日は自由に過ごせる時間が増えます。勉強時間をしっかり確保しつつ、プライベートも大切にすることで、学業と生活のバランスをうまく取れるようにしています。5歳からダンスを習っているので、ダンスで体を動かしてリフレッシュ！ストレスの発散にもなっています。

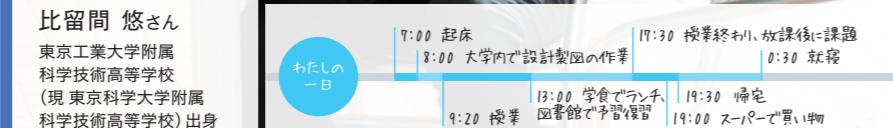


時間があれば、街に飛び出して建築巡り
授業以外の時間の中にある新しい発見

建築の創造活動には、授業以外から得られる経験や知見も大きな意味をもたらします。そのため、時間を見つけては街中を散策。さまざまな建築を巡ることで、新しい発見があります。キャンパス内で好きな場所は、図書館。専門書がずらりとそろい感動ものです。キャンパスから少し歩いたところにある喫茶店「Cafe4分休符」は内装がおしゃれでおすすめ。建築コースは授業で使う文房具の種類が多いので、ペンケースの中身チェックは朝の日課です。



建築学系 建築コース 2年
比留間 悠さん
東京工業大学附属科学技術高等学校
(現 東京科学大学附属科学技術高等学校)出身



工学部の学生たちは、どんな1日を過ごしているのか？
日々の授業や研究、クラブ活動やアルバイトなど、
キャンパスライフを疑似体験！

Q1 東京工芸大学を選んだ理由は？

機械工学やAI・ロボット工学、そして自動化技術など、多様な分野の最先端の知識を学ぶことができる環境が整っていると考え、留学しました。授業では専門領域の学びを深められるだけでなく、実践的なプロジェクトや演習によって、理論を現実の問題に応用する力も鍛えられていると感じています。



留学生交流会で
新しい友達ができました！



工学系 機械コース 1年
JI JIANANさん
金沙高級中学 (中国)出身

Q2 学生生活はどうですか？

留学（来日）当初は不安もありましたが、先生や仲間の存在によって少しずつ自信を持てるようになりました。プログラミングやシステム設計を実際に体験しながら学ぶことができます。

Q4 東京工芸大学のいいところは？

日本の学生だけでなく、他国からの留学生との交流も深められ、多文化の見聞を広げる機会が多いところです。また、英語での学習やプロジェクトによって、グローバル社会に対応する力も養うこともできます。

Q3 大学のサポート体制はどうですか？

学修支援センターで授業内容の補助や課題に関するアドバイスをいただくことができ、とても助かっています。大学から寮や住居も紹介してもらえ、安心して日本での新生活をスタートできました。

Q5 留学生にメッセージをお願いします！

不安もあると思いますが、工芸大なら大丈夫！周りには相談できる親切な先生や、留学生の仲間がいます。工芸大で素晴らしい経験を積み、新しい未来を切り拓けるよう心から応援しています。

Our Dormitory

指定学生寮 ドーミー厚木

厚木駅徒歩5分の位置に指定学生寮があり、遠方からの入学生を支援しています。必要な家具付きのワンルームタイプ。また、朝・夕の2食付きタイプを選べば食事の心配もいりません。寮長寮母が常駐しており、オートロックなのでセキュリティ面でも安心です。



ドーミー厚木の間取り図



詳細はこちら /

所在地 神奈川県海老名市中新田2-13-62
交 通 小田急小田原線「厚木」駅徒歩約4分
建 物 鉄骨造5階建（エレベーターはありません）
居 室 洋室18.90m²（定員54名）

館費（月額）

食事別

70,300円～

食事付 87,900円～



アドミッション・ポリシー

1

求める人物像

工学部では、東京工芸大学の教育目標に共感し、工学部のディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけようとする意欲と素養を持った人の入学を期待しています。そのため、以下に掲げる資質を持った入学生を求めていきます。

- いざかのコースにおける専門分野の知識や技術を学ぶために必要な基礎的・基本的な知識・技能
- 専門分野・工学分野の知識・技術を活かすために必要な思考力・判断力・表現力
- 専門分野・工学分野の知識・技術を活かすために必要な主体性および多様な人々と協働できる力

2

入学以前に望まれる学習内容

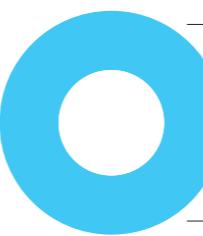
高等学校等の課程全般の基礎的な知識・技能。特に、以下の学習歴があることが望されます。

- 数学(「数学I」に加えて、「数学A・数学II・数学B・数学C」のうち1科目以上)
- 理科(「物理基礎」「化学基礎」に加えて、「物理・化学」のうち1科目以上)
- 情報(情報I)
- 外国語(「論理表現I・英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII」のうち2科目以上)
- 国語(「現代の国語・言語文化」から1科目以上、ただし古文および漢文を除く)
- 総合型選抜では、課題、面接で評価します。
- 学校推薦型選抜では、試験方式により、推薦書・調査書・志望理由書、面接もしくは推薦書・調査書、学力試験、面接または特別推薦書・調査書、面接で評価します。
- 一般選抜では、試験方式により、学力試験または大学入学共通テストで評価します。

3

入学者選抜の評価方法

求める人物像の各能力について、入試区分ごとに以下のとおり評価します。



2026年度

学費・奨学金

学費

初年度納付金については必ず学生募集要項で確認してください。

年次別	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
	入学手続時	後期(9月)	前期(4月)	後期(9月)	前期(4月)	後期(9月)	前期(4月)	後期(9月)
学費	入学金	200,000円	—	—	—	—	—	—
	授業料	530,000円						
	施設設備費	145,000円						
	小計	875,000円	675,000円	675,000円	675,000円	675,000円	675,000円	675,000円
諸会費	学友会会費	7,000円	—	7,000円	—	7,000円	—	7,000円
	後援会会費	9,000円						
	同窓会会費	10,000円	—	10,000円	—	10,000円	—	10,000円
	小計	26,000円	9,000円	26,000円	9,000円	26,000円	9,000円	9,000円
合計	901,000円	684,000円	701,000円	684,000円	701,000円	684,000円	701,000円	684,000円
	1年間の学費	1,585,000円	1,385,000円	1,385,000円	1,385,000円	1,385,000円	1,385,000円	1,385,000円

※GPA=Grade Point Average(成績水準)

…各科目の成績から特定の方式により算出した成績評価値

学業特待生

工学部では、「学業特待生制度」を設けています。工学部1~3年次の年度末において通算GPAが3.5以上の学生が対象で、そのうち各学年の上位若干名(2024年度実績24名)を選出します。受賞者には翌年度(1年間)の、授業料の半額が免除されます。

本学独自の奨学金

名称	内容	対象	1年	2年	3年	4年	大学院	申込数	採用数	
えんのき奨学金	上限600,000円とし100,000円単位 ^{※1}	貸与	勉学意欲が旺盛で、経済的理由により学業を維持することが困難であり、進級、卒業・修了が見込まれる者	○	○	○	○	○ ^{※3}	0	0
野呂奨学金	150,000円単位 ^{※1}	給付	学術優秀で、経済的理由により修学に困難がある者	○	○	○	○		19	2
後援会教育奨学金	300,000円 ^{※1}	給付	学業成績優秀、特に個性的な人物で、経済的理由により修学に困難がある者	○	○	○	○		34	27
後援会留学生奨学金	300,000円 ^{※1}	給付	留学生で、人物、学業とも優秀、経済的理由により修学に困難がある者	○	○	○	○	○	26	26
大学院研究奨学金	300,000円 ^{※1}	給付	本学大学院入試に合格し、入学予定の研究意欲が旺盛で、経済的理由により修学に困難がある者				○ ^{※2}		8	4
工学部同窓会工学部奨学金	300,000円 ^{※1}	給付	人物及び学業とともに特に優秀であり、経済的理由により修学に困難があると認められる者			○	○		6	4
工学部同窓会工学研究科奨学金	300,000円 ^{※1}	給付	人物及び学業とともに特に優秀であり、経済的理由により修学に困難があると認められる者				○	○	6	4
緊急支援奨学金	300,000円 ^{※1}	給付	主たる家計支持者が会社の倒産または解雇などにより失職し無収入に近い状態となり修学の継続が困難な者	○	○	○	○	○	1	1
後援会共済奨学金	年間学納金の半額相当分	給付	連帯保証人の死亡により家計が急変した者	○	○	○	○	○	2	2
後援会応急奨学金	500,000円以内	給付	連帯保証人の病気療養などにより家計が急変した者	○	○	○	○	○	2	2

※1 在学中1回。 ※2 支給は大学院入学後。 ※3 最終学年のみ。

日本学生支援機構奨学金

名称	内容	対象	1年	2年	3年	4年	大学院	採用数
日本学生支援機構奨学金第一種(無利子貸与)	大学	貸与	自宅通学:20,000円、30,000円、40,000円、54,000円から選択 自宅外通学:20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円から選択 ※申込時ににおける家計支持者の年収額が一定額以上の場合、最高月額以外から選択	○	○	○	○	54
	大学院(修士)		50,000円~88,000円から選択				○	6
	大学院(博士)		80,000円~122,000円から選択				○	1
日本学生支援機構奨学金第二種(有利子貸与)	大学	貸与	20,000円~120,000円から選択(10,000円単位)	○	○	○	○	76
	大学院(修士)		50,000円~80,000円~100,000円~130,000円~150,000円から選択				○	2
	大学院(博士)						○	0
文部科学省外国人留学生奨学金	大学	給付	月額48,000円	○	○	○	○	1
	大学院		月額48,000円				○	0

●採用数は2024年度の予約・定期・臨時採用の合計

●第一種・第二種併用採用の場合、それぞれ人数を記載しています。

※工学部のみ。

●本学では入学式以降に奨学金説明会を実施し募集しています。日本学生支援機構奨学金の事前予約制度については、在学高等学校などにお問い合わせください。

高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付型奨学金)

本学は高等教育の修学支援新制度の認定校です。詳細は合格通知の際にご案内いたしますが、事前に高等学校などを通じて日本学生支援機構(JASSO)に申し込んでおくことが必要です。

地方自治体等奨学金

地方自治体や財団法人等の奨学金制度がありますが、

募集状況は毎年変更する場合がありますので、個別にお問い合わせください。

■ あしなが大学奨学生(月額70,000円(内貸与40,000円・給付30,000円))

■ 交通遺児育英会大学奨学生(月額40,000円~60,000円貸与)

■ 茨城県奨学生(月額36,000円~40,000円貸与)

■ 福島県奨学生(月額40,000円貸与)

■ 川崎市大学奨学生(月額38,000円貸与)

教育ローン

国の教育ローンと本学提携教育ローンを紹介します。

日本政策金融公庫「国の教育ローン」

合格発表前に申込みができます。入試時期は申込みが大変多くなりますので、余裕をもって、早めに手続きしてください。

日本政策金融公庫「教育ローンコールセンター」

ナビダイヤル 0570-008656(全国から市内通話料金で利用できます)

【受付時間】月~金曜日 9:00~21:00 土曜日、日曜日、年末年始(12月31日~1月3日)は利用できません

<https://www.jfc.go.jp/finance/search/ippou.html>

(株)オリエントコーポレーションの提携教育ローン「学費サポートプラン」

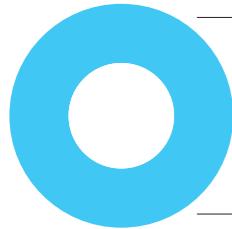
本学が(株)オリエントコーポレーション(オリコ)と提携し、入学手続時の納付金などをオリコが手続者に代わって大学に立替払いし、手続者はオリコに毎月分割で支払うというものです。手続きは、インターネットにより24時間申込みが可能です。

<https://orico-web.jp/gakuhi>

楽天銀行(株)の「大学専用教育ローン」

融資希望日の3ヵ月前から受付可能です。お申込みには提携コードと申込コードが必要です。

<https://www.rakuten-bank.co.jp/loan/education/>

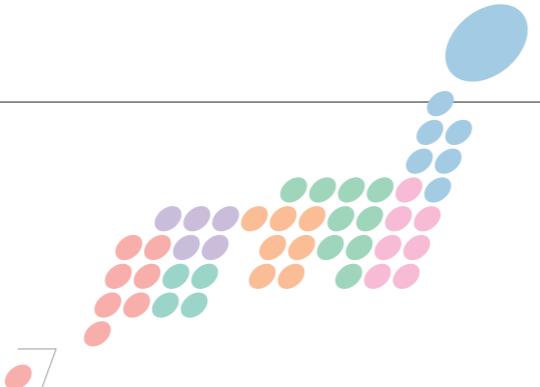


2024年度 工学部実績

入学者出身校一覧

日本全国から集まる東京工芸大学の学生たち

本学工学部に入学した先輩たちの出身高校をご紹介します。
本学には、関東を中心に、全国から学生が入学しています!



北海道・東北

【北海道】 札幌手稻／千歳／苫小牧南／東海大学付属札幌／クラーク記念国際／星槎国際
【青森】 青森南／北斗／
【宮城】 登米総合産業／東陵
【秋田】 能代松陽
【山形】 山形工業
【福島】 日本大学東北／大智学園

関東

【茨城】 水戸第二／鉢田第二／潮来／土浦工業／水城／江戸川学園取手／常総学院／水戸葵陵／鹿島学園／翔洋学園／第一学院高萩校／S
【栃木】 作新学院／日々輝学園
【群馬】 高崎工業／中央／桐生
【埼玉】 呉玉／久喜工業／所沢／北本／いずみ／白岡／大宮北／新座総合技術／川越初雁／本庄第一／本庄東／埼玉栄／春日部共栄／西武台／西武学園文理／東京農業大学第三／志学会
【千葉】 若松／君津商業／銚子（市立）／磯辺／佐倉南／我孫子東／市川

昂／四街道北／八千代松陰／翔凜／中央国際
【東京】 五日市／大山／葛西南／片倉／小岩／駒場／田園調布／永山／東／深沢／福生／文京／町田工科／武相／横浜創学館／横浜／三浦学苑／横須賀学院／鎌倉女学院／鵠沼／湘南工科大学附属／藤嶺学園藤沢／藤沢翔陵／向上／相洋／旭丘／アレセイア湘南／光明学園相模原／麻布大ヶ丘学園／目黒学院／東京／日本体育大学荏原／科学技術学園／駒場学園／大東学園／和光／堀越／杉並学院／佼成学園／國學院大學久我山／十文字／共立女子第二／八王子実践／昭和第一学園／明法／文華女子／明治大学附属中野八王子
【神奈川】 鶴見／神奈川工業／旭／日本文理
【横浜】 福井商業
【山梨】 甲府工業／巨摩／富士河口湖／甲府城西／甲府昭和／山梨学院／日本航空
【長野】 須坂／岩村田／箕輪進修／伊那北／塩尻志学館／穗高商業／長野南／松本第一／佐久長聖
【岐阜】 岐阜東
【静岡】 御殿場／御殿場南／沼津工業／掛川西／小山／飛龍／静岡サレジ

オ / 桐陽

近畿

【大阪】 向陽台

中国

【島根】 浜田
【岡山】 津山工業／鹿島朝日
【広島】 広島観音／広陵

四国

【香川】 香川県藤井
【高知】 明徳義塾

九州・沖縄

【福岡】 新津／新潟東／新潟第一／日本文理
【山梨】 甲府工業／巨摩／富士河口湖／甲府城西／甲府昭和／山梨学院
【鹿児島】 屋久島おおぞら
【沖縄】 八洲学園大学国際／N

その他

高校卒業程度認定試験／外国の学校など／専修学校的高等課程など

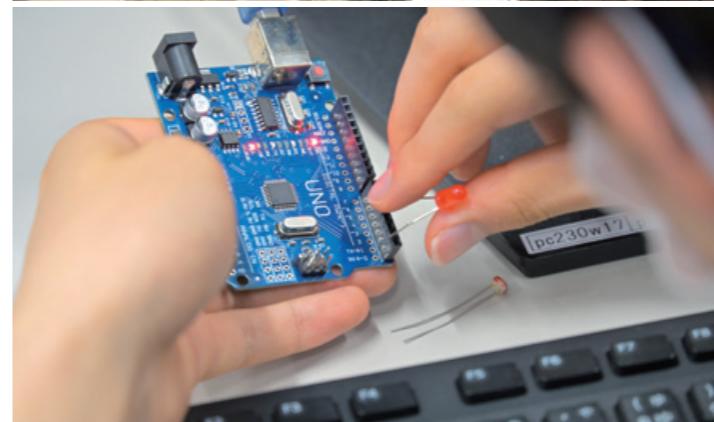
「ごしんばく会」のお知らせ

「ごしんばく会」とは、学生会議委員会主催の、「入学前に友達を作ろう！ キャンパスについて楽しく知ろう！」というイベントです。各種のレクリエーションなど、これから始まるキャンパスライフがより楽しくなるきっかけが満載です。ご参加お待ちしています！

ここが
POINT!

ぜひご参加ください！

- 同じコースの友達をいち早く作れる。
- 同じ趣味を持った友達を見つける。
- 他コースの友達も作れる。
- 先輩と交流できる。



OPEN CAMPUS 2025

さまざまな企画をご用意して
皆さんをお待ちしています！

オープンキャンパスでは、資料やWebサイトだけでは分からず、リアルな東京工芸大学を実感することができます。学部・コース説明をはじめ、研究室・施設公開、体験型模擬授業、入試対策講座、就職・学生生活の個別相談、保護者向け説明会（就職・奨学金等）など、毎回異なるプログラムをご用意しておりますので、リピーターの方や高校1・2年生の方のご来場も大歓迎です。

工学部オープンキャンパス日程

2025
6/8 ㈯ 7/20 ㈰ 8/24 ㈰
9/28 ㈰ 2026
3/29 ㈰

主なプログラム

学部・コース紹介／体験型模擬授業／研究室・施設見学／入試・学生生活・就職説明／個別相談など

工学部進学相談会

2025
10/25 ㈯ 進学相談会 with工芸祭

※日程は変更の可能性があります。最新の情報は、本学Webサイトでご確認ください。



キャンパス見学も受け付けています！

オープンキャンパスにご都合が合わない方は、個人での見学も可能です。事前にご予約をお願いします。



団体見学（オーダーメイドオープンキャンパス）もお待ちしています！

ご希望に沿った日程・プログラムで、施設見学や模擬授業を体験いただけます。

※高等学校からのお申込みが必要です（原則、参加者10名以上で開催）